令和７年度（2025年度）

教　育　要　項 Ⅰ

１･２･３･４学年

関 西 医 科 大 学

関西医科大学　建学の精神

本学は、「慈仁心鏡」、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

関西医科大学　大学の使命

本学は、独創的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る医療人を育成するとともに、深く医学、看護学及びリハビリテーション学を研究し、広く文化の発展と公共の健康・福祉に寄与することを使命とする。

関西医科大学　教育の理念

本学医学部は、建学の精神に則り、自由・自律・自学の学風のもと、生涯にわたり、学問的探究心を備え、幅広い教養と国際的視野をもち、地域社会に貢献する人間性豊かな良医を育成することを教育の理念とする。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

医学・医療の進歩と質の向上に努め、豊かな感性と教養があり、生涯にわたり国際社会や地域社会に貢献できる医師を育成するため、次のような人材を求めています。

1. 高い倫理性と豊かな人間性を有する人
2. 医学・医療の進歩に貢献しようとする熱意を有する人
3. 医師に必要な使命感、協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人
4. 課題を発掘する好奇心や探究心を有する人
5. 自己啓発・自己学習を継続する意欲を有する人

本学入学までに求める学習成果

入学する学生には、高等学校等における教育課程により習得した基礎学力を、分析力や俯瞰力により高度な学びへと展開できるように、次のような能力を求めます。

1. 生命科学・医学を学ぶための高校卒業レベルの学力
2. 論理的思考力などの総合的学習能力
3. 多様な人々と協調、協力して物事を成し遂げるためのコミュニケーション能力
4. 国際社会においても活躍できる基礎となる語学能力

入学者選抜の基本方針

医学・生命科学に深い関心を持ち、真摯な姿勢、強い熱意を持って真理を探究し、国際社会や地域社会で活躍できる医療人としての資質･適性を持つ人材を見極めるために、学力試験のみならず、小論文試験・面接試験を課し、総合的な判定に基づき、入学者を選抜します。

1. 一般選抜試験（前期・後期）

個別学力試験を課し、医学を学ぶ上で必要な思考力や表現力を有するかを評価します。さらに面接試験でコミュニケーション能力、学問・研究に対する熱意や積極性、倫理観等について評価します。それらの結果に調査書を加えて総合的に評価します。

2. 大学入学共通テスト利用選抜試験（前期・後期）

個別学力試験に代わって、大学入学共通テストにより高等学校卒業レベルの基礎学力を有するかを評価します。さらに面接試験でコミュニケーション能力、学問・研究に対する熱意や積極性、倫理観等について評価します。それらの結果に調査書を加えて総合的に評価します。

3．大学入学共通テスト・一般選抜試験併用試験

大学入学共通テストで測る基礎学力と、個別学力試験で測る高い思考力や表現力をバランスよく兼ね備え、医学を学ぶ基盤となる科目への理解度を評価します。さらに面接試験でコミュニケーション能力、学問・研究に対する熱意や積極性、倫理観等について評価します。それらの結果に調査書を加えて総合的に評価します。

4．特色選抜試験

多様な背景を持つ人の特性を評価します。高い英語能力を持ち、グローバル社会で医学・医療の進歩において中核的役割を果たす自覚を評価する英語型、国際バカロレアのディプロマ・プログラムにおいて優秀な成績を修め、多様な社会で活躍する能力を評価する国際型、科学オリンピック等に参加し、医学や生命現象に対する探究心と独創性を評価する科学型の 3 種類があります。

いずれの型も適性能力試験で課題解決能力や応用力を、また小論文で論理的思考力や表現力をそれぞれ評価します。面接試験では、調査書、推薦書、志望理由書及び活動報告書を参考に、本学への入学意志や高等学校等での取り組みを総合的に評価します。

5．特別枠学校推薦型選抜試験（専願制）

本学の建学の精神および特別枠の趣旨に賛同し、所定の基準を満たす者を対象に、適性能力試験で課題解決能力や応用力を、また小論文で論理的思考力と表現力をそれぞれ評価します。面接試験では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考に、本学への入学に対する強い意志や特別枠に対する理解・意欲、高等学校等での取り組みを総合的に評価します。

6．一般枠学校推薦型選抜試験（併願制）

本学の建学の精神に賛同し、所定の基準を満たす者を対象に、適性能力試験で課題解決能力や応用力を、また小論文で論理的思考力と表現力をそれぞれ評価します。面接試験では、調査書、推薦書及び志望理由書を参考に、医師を目指す意志や意欲及び資質、高等学校等での取り組みを総合的に評価します。

7．一般選抜試験（地域枠）

地域医療に従事しようとする意欲溢れる学生を選抜することを目的とし、一般選抜試験（前期）で選抜します。指定の地域で医療に携わる熱意を一般選抜試験（前期）の方針に加えて、総合的に評価します。

カリキュラム・ポリシー

関西医科大学医学部は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、個々の学生が水準以上の知識と技術を身につけて、慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を有し医療と福祉に貢献できる良医を育成するため、学生が修得しなければならない以下の教育課程を編成します。

・ 医療プロフェッショナリズムの実践

1～2 学年および 4 学年の「医療プロフェッショナリズムの実践」では、医療人としての人間性、プロフェッショナリズム・倫理観、多職種連携の基礎を修得する。

・ 準備教育と基礎医学の水平・垂直統合型コース

1～2 学年の「生体の構造と機能」、1、3 学年の「理工学からみた医療・医学」、1 学年の「健康科学」、2 学年の「病因と病態」、「感染と生体防御」では、幅広い教養、医学的知識、科学的思考・問題解決能力を修得する。

1～2 学年および 4 学年の「人間と社会」では、幅広い教養、コミュニケーション能力を修得する。また、4・5 学年では社会医学を学び、医学的知識、科学的思考・問題解決能力に加えて、保健・医療・福祉を理解していく。

1～4 学年の「医学英語」では、国際的視野を持ち国際的に貢献できる幅広い教養を修得する。

1 学年の「リベラルアーツセミナー」では、医学的知識の基礎、幅広い教養を修得する。

1 学年の「IT からみた医療・医学」では、将来的に医療や医学の現場において活用できるように、IT 技術の正しい使い方を理解する。

・ 臓器別系統別コース

3～4 学年の「臓器別系統別コース」では、1～2 学年の学びをもとに医学的知識・技能、科学的思考・問題解決能力を修得する。

・ 科学的思考・問題解決の実践

1～4 学年の「LPBL」では、プロフェッショナリズム・倫理観、医学的知識、問題解決能力を修得する。

1～3 学年の「リサーチマインドの実践」では、教養・基礎・臨床医学的知識が実際の研究室、医療現場等でどのように活用・実践されているかを自らが体験し、自主的に学ぶことにより科学的思考・問題解決能力を修得する。

・ 白衣の日

1 学年の「白衣の日 P1」では、様々な診療科における見学実習を、2 学年の「白衣の日 P2」では、希望する診療科及び基礎医学講座の研究室での実習を経験することにより、将来医師となるうえでのモチベーションを高める。

・ 臨床実習

1～4 学年の「臨床実習入門」では、医療人としての人間性、プロフェッショナリズム・倫理観、患者中心・共感の姿勢、地域医療に貢献する姿勢を修得する。4 学年には、共用試験 CBT、

臨床実習前 OSCE を受験する。この試験に合格し、4 学年の進級要件を満たせば、「クリニカル・クラークシップ」を開始する。
4〜6 学年の「クリニカル・クラークシップ」では、附属病院、国内外の関連病院で初期臨床研修につながる診療参加型臨床実習を実施していく。「クリニカル・クラークシップ」はこれまでの学びの集大成であり、全てのディプロマ・ポリシーを総合的に修得する。クリニカル・クラークシップ終了後、臨床実習後 OSCE や卒業試験でこれまでの学習が総合的に評価される。

ディプロマ・ポリシー

各学年での講義、及び実習等における試験と総合（卒業）試験に合格のうえ「履修修了認定に関する細則」に定める進級要件を満たし、建学の精神、教育の理念に則り、以下の教育目標を全て満たしたと認められる学生に学位を授与します。

１．医療人としての人間性

(1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。

２．プロフェッショナリズム・倫理観

(1) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。

(2) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。

３．コミュニケーション能力

(1) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。

４．患者中心・共感の姿勢

(1) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。

５．医学的知識・技能

(1) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。

(2) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。

(3) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。

６．科学的思考・問題解決能力

(1) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。

７．自己主導型学習・生涯学習

(1) 自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。

８．多職種連携

(1) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。

９．国際的視野・地域医療

(1) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。

(2) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。

医学部のアセスメント・ポリシー

医学部では、DP（学位授与の方針）に定める学生が修得すべき資質や能力を教育課程レベル・科目レベルで次の指標により測定し、その達成状況を評価、検証していきます。

	DPに定める資質・能力	入学時	在学中	卒業時
教育課程レベル	DP1：医療人としての人間性 （慈仁心鏡） DP2：プロフェッショナリズム・倫理観 DP3：コミュニケーション能力 DP4：患者中心・共感の姿勢 DP5：医学的知識・技能 DP6：科学的思考・問題解決能力 DP7：自己主導型学習・生涯学習 DP8：多職種連携 DP9：国際的視野・地域医療	各種入学試験 入学時調査票の記載事項 入学前課題	修得単位数 GPA 進級率・休学率・退学率 プレCBT総合試験成績 総合試験成績 共用試験成績 （CBT,臨床実習前OSCE） Mini-CEX 360度評価 実習評価（ルーブリック等） TOEFL ITP成績 学修実態調査 態度・人間性評価	卒業試験成績 臨床実習後OSCE 医師国家試験合格率 進級率・休学率・退学率 ストレート卒業率 態度・人間性評価
科目レベル			各科目評価（講義、実習） 出席、試験成績、レポート ポートフォリオ等 授業評価アンケート	各科目評価（講義、実習） 出席、試験成績、レポート ポートフォリオ等

関西医科大学の科目ナンバリング

科目ナンバリングとは

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことをいいます。本学医学部、看護学部、リハビリテーション学部で開講するすべての授業科目に付すコードを、次の 6 種類の英数字で表すこととしています。

ナンバリングコードの構成

M	A	01	A	1	01
①	②	③	④	⑤	⑥

① 学部コード
② 科目区分-1
③ 科目区分-2（科目の種類）
④ 授業形態コード
⑤ 配当年次コード（レベルコード）
⑥ 識別コード

ナンバリングコード対応表

① 学部コード

学部コード	学部
M	医学部
N	看護学部
R	リハビリテーション学部

② 科目区分-1

【医学部】

科目区分-1	科目区分
A	コース
Z	臨床実習

【看護学部】

科目区分-1	科目区分
A	基礎科目
B	専門基礎科目
C	専門科目（助産選択）

【リハビリテーション学部】

科目区分-1	科目区分
A	基礎教養科目
B	専門基礎科目
C	専門科目

③　科目区分-2（科目の種類）

【医学部】　コース、臨床実習の通し番号を示す。

【看護学部・リハビリテーション学部】　科目の分類を示す。

④　授業形態コード

【医学部】

科目区分-1	科目区分
1	コース
A,B,C,P	ユニット
S	試験
Z	臨床実習

【看護学部・リハビリテーション学部】

科目区分-1	科目区分
A	講義・演習
B	実習

⑤　配当年次コード（レベルコード）

当該科目の配当年次を示す。

⑥　識別コード

【医学部】　サブユニットの通し番号を示す。

【看護学部・リハビリテーション学部】　科目の分類ごとの通し番号を示す。

以上

建学の精神
アドミッション・ポリシー
カリキュラム・ポリシー
ディプロマ・ポリシー
アセスメント・ポリシー
関西医科大学の科目ナンバリング

目次

はじめに ……●
履修系統図 ……●
関西医科大学における６年間の教育課程 ……●
特別枠入学者・大阪府地域枠入学者・
　　静岡県地域枠入学者・新潟県地域枠入学者のカリキュラム ……●
研究医養成コース・研究マインド育成プログラムのカリキュラム ……●

関西医科大学学則 ……●
医学部科目及び単位表（学則･別表第１） ……●
教室、講座及び領域（学則･別表第４） ……●
医学部履修修了認定に関する細則（令和６年度以降入学者） ……●
医学部履修修了認定に関する細則（令和５年度以降入学者） ……●
医学部履修修了認定に関する細則（令和４年度以降入学者） ……●
医学部履修修了認定に関する細則（令和２年度以降入学者） ……●
医学部履修修了認定に関する細則（平成３０年度以降入学者） ……●
関西医科大学医学部における学生の成績等の開示及び異議申立てに関する規則……●
大学生活におけるアンプロフェッショナル行動について……●
気象警報発令時等における試験･講義・実習の取扱いについて ……●
試験時の交通機関延着について ……●
令和７年度教務関係日程表 ……●
令和７年度週当り時間割 ……●
令和７年度１学年試験日程 ……●
令和７年度２学年試験日程 ……●
令和７年度３学年試験日程 ……●
令和７年度４学年試験日程 ……●
講義室･実習室年間使用予定表 ……●
枚方学舎フロア構成図 ……●
学生用接遇マニュアル ……●
個人身だしなみチェックリスト ……●
附属図書館本館利用案内 ……●

は　じ　め　に

医学部教務部長　岡　田　英　孝

本学は 1928 年に大阪女子高等医学専門学校として牧野に創設されました。その後、大阪女子医科大学、1954 年からは男女共学の関西医科大学として、9,000 人余りの卒業生を送り出してきました。医療系複合大学として、医学部のみならず、看護学部とリハビリテーション学部を新たに設置して、多職種連携に対応できる広い視野で学べる環境を整えています。

本学の教育理念は、建学の精神「慈仁心鏡」に則った、「人間性豊かな良医の育成」です。すなわち、医学および医療の専門職として必要な知識と技術を身につけると同時に幅広い教養と人間性を兼ね備えた医師を育てることです。この目的を達成するために、2013 年度に 6 年一貫教育の枠組みの中でバランスのとれたカリキュラムを確立しました。さらに、2018 年度 1 学年からは全学年にわたって教養教育と専門教育を水平・垂直に統合して、新しい医学教育・社会のニーズに対応したコース制のカリキュラムを導入しています。

1，2 学年の皆さんは、教養と基礎医学が統合されたコースを受講します。例えば、「生体の構造と機能」では、生物学、化学、医化学、解剖学、生理学の垣根を越えて統合的に学ぶことになります。英語の学習は 6 年間続き、外国の文化や科学の最新情報を知り、世界を舞台に活躍する医師になるために国際性を身につけます。

1 学年から、態度・人間性教育を学ぶことも将来の医療人として重要なため、「医療プロフェッショナリズムの実践」を受講し、プロフェッショナリズムについて考える機会を設けます。1 学年では、医療の現場を早期から体験する「白衣の日 P1、臨床実習入門 P1b（早期医療実習）」を、2 学年ではチーム医療の重要性を学ぶ「臨床実習入門 P2（看護実習）」や、医師としてのモチベーションをさらに高められるよう自由選択科目として「白衣の日 P2a・P2b」行います。

3 学年の皆さんは、臓器別系統別コース（臨床医学講義）がはじまります。この時期に臨床知識を十分に習得してもらいます。3 学年の 3 学期には「リサーチマインドの実践 P3（配属実習）」として、4 週間をかけて国内外の基礎・臨床の研究室で科学する目を養い、地域実習などを通して社会における医療の役割などを学びます。学年末には、プレ CBT 総合試験を実施し、1 年間の総復習を行って知識の定着を確実なものにします。総復習で得た知識は、次学年以降の重要な基盤となり、4 学年で受験する共用試験 CBT（知識を見るコンピュータ試験）の早期対策としても有効なものです。

4 学年の皆さんは、3 学年に引き続き臓器別系統別コースを受講し、臨床知識を醸成します。また、共用試験 CBT と臨床実習前 OSCE（臨床技能を見る実地試験）があり、これらに合格しなければなりません。4 学年の 3 学期から、いよいよ診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）が始まります。

5，6 学年では、学内実習と学外、海外、他大学での実習にも参加でき、広い視野をもってさらに必要な医学・医療の実力を身につけ、態度・人間性に磨きをかけることになります。臨床実習を終えて、卒業試験にパスした後に、最終段階の国家試験に合格して、晴れて医師となります。

このように、長い期間をかけて、多くのことを学ぶのは、それだけ医師が社会に対して責任の重い職業だからです。日常の弛まざる学習の継続があって、はじめて到達できるものです。さらに将来、臨床医だけでなく、基礎・社会医学、臨床医学の各領域で、教育者や研究者にもなって欲しいと期待しています。

最後に母校、関西医大で学べたことを誇りに思い、立派な良医になってください。

履修系統図

Curriculum Chart

ディプロマ・ポリシー（DP）
Diploma Policy (DP)

1 医療人としての人間性
Humanity as a medical professional

2 プロフェッショナリズム・倫理観
Professionalism / Ethics

3 コミュニケーション能力
Communication skills

4 患者中心・共感の姿勢
Patient-centered and empathetic attitude

5 医学的知識・技能
Medical knowledge and skills

6 科学的思考・問題解決能力
Scientific thinking/Problem-solving ability

7 自己主導型学習・生涯学習
Self-directed learning/Lifelong learning

8 多職種連携
Multidisciplinary collaboration

9 国際的視野・地域医療
Global perspectives/Regional medical care

1年 1st Year	2年 2nd Year	3年 3rd Year	4年 4th Year	5年 5th Year	6年 6th Year

- 生体の構造と機能 Structure and Function of the Human Body — DP 3,5,6,7,8
- 病因と病態 Pathogenesis and Pathology — DP 5,6,9
- 感染と生体防御 Infection and Biological Defenses — DP 5,6,7,9
- 臓器別系統別コース Course by Organ/System — DP 5,6
- 健康科学 Health Sciences — DP 3,5,7
- リベラルアーツセミナー Liberal Arts Seminar — DP 5,7,9
- 医学英語 Medical English — DP 7,9
- 理工学からみた医療・医学 Healthcare and Medicine from the Viewpoint of Science and Engineering — DP 2,3,5
- ITからみた医療・医学 Information Science and Technology related to Medical Sciences — DP 2,3,5,6
- 人間と社会 Humans and Society — DP 1,2,3,5,6
- 人間と社会 Humans and Society — DP 5,6,9
- 人間と社会 Humans and Society — DP 5,6,9
- 医療プロフェッショナリズムの実践 Practice of Medical Professionalism — DP 1,2,7,8
- LPBL(Problem-based learning in large classroom) — DP 3,6,7,8
- 臨床実習入門 Introduction to Clinical Practical Training — DP 2,3,4,9
- 白衣の日 White Coat Day — DP 2,3,4
- リサーチマインドの実践 Practice Adopting a Research Mindset — DP 5,6,7,9
- 地域医療の実践 Practice of Regional Medical Care — DP 7,9
- 共用試験CBT/臨床実習前OSCE Common Achievement Tests (CBT/Pre-CC OSCE)
- クリニカル・クラークシップ Clinical Clerkship — DP 1～9
- 臨床実習後OSCE Post-CC OSCE
- まとめの講義・卒業試験 Wrap-up Lectures/Final Exams

関西医科大学における6年間の教育課程

令和6年度から、新カリキュラムを適用します。以下に教育課程を示します（※新設科目においては、令和7年度以降に順次開講するものも含む）。コースの下にユニットを設けユニットによる評価を行います。試験はユニット又はユニットに属するサブユニットで各々試験を行い、総合的にユニットの評価を確定します。

学年	主な教育内容	コース・ユニット・科目名	評　　価
1	教養・基礎統合コース	生体の構造と機能 A1、B1、P1a、P1b 理工学からみた医療・医学 A1、P1 ITからみた医療・医学 A1 人間と社会 A1、P1a、P1b 医療プロフェッショナリズムの実践 A1 医学英語 A1 健康科学 A1 リベラルアーツセミナー A1 臨床実習入門 P1b 白衣の日 P1 LPBL A1 リサーチマインドの実践 A1 地域医療の実践 A1	・各ユニット内の科目試験 ・レポート評価 ・実習評価 ・発表評価 ・セミナー評価
2		生体の構造と機能 B2、C2、P2b、P2c、P2d 人間と社会 A2 医療プロフェッショナリズムの実践 A2 医学英語 A2 臨床実習入門 P2 白衣の日 P2a、P2b LPBL A2 病因と病態 A2 感染と生体防御 A2、P2 リサーチマインドの実践 A2 地域医療の実践 A2	・各ユニット内の科目試験 ・レポート評価 ・実習評価 ・発表評価
3	臓器別系統別コース	医学総論、放射線診断学、臨床腫瘍学、腎尿路、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液・移植、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒	・各コース/各ユニット内の科目試験 ・レポート評価 ・実習評価 ・発表評価 ・プレCBT総合試験
	教養・基礎統合コース	理工学からみた医療・医学 B3 医学英語 A3 臨床実習入門 P3 LPBL A3 リサーチマインドの実践 P3 地域医療の実践 A3	

<table>
<tr><th>学年</th><th>主な教育内容</th><th>コース・ユニット・科目名</th><th>評　　価</th></tr>
<tr><td rowspan="3">4</td><td>臓器別系統別コース</td><td>麻酔･集中治療、眼･視覚、耳鼻咽喉･頭頸部外科、皮膚、精神･行動、周産期･生殖器、小児の成長･発達、全人的医療･行動科学</td><td rowspan="2">・各コース/各ユニット内の科目試験
・レポート評価
・実習評価
・発表評価
・共用試験CBT
・臨床実習前OSCE</td></tr>
<tr><td>教養・基礎統合コース</td><td>人間と社会 A4
医学英語 A4
医療プロフェッショナリズムの実践 A4
臨床実習入門 P4a、P4b、P4c
LPBL A4
地域医療の実践 P4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">臨床実習</td><td>内科学(１)、内科学(２)、内科学(３)、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝臓外科学、胆膵外科学、乳腺外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、麻酔科学、病態検査学
人間と社会 P5</td><td>・各科の実習評価
・総合試験①②</td></tr>
<tr><td>6</td><td>臨床実習
選択制臨床実習
まとめの講義と卒業試験</td><td>精神神経科学、小児科学、産科学・婦人科学、救急医学
選択制臨床実習、自由選択制臨床実習、
まとめの講義</td><td>･各科､各施設の実習評価
・臨床実習後OSCE
・卒業試験①②</td></tr>
</table>

特別枠入学者・大阪府地域枠入学者・
静岡県地域枠入学者・新潟県地域枠入学者のカリキュラム

平成30年度から導入した新カリキュラムでは、特別枠入学者、大阪府地域枠入学者、静岡県地域枠入学者、新潟県地域枠入学者に対し、下記のカリキュラムを実施する予定です。

学年	カリキュラム内容
1	臨床実習入門 P1b において、体験実習を課す。また、医師不足科、地域に関して学ぶ「地域医療の実践 A1」の受講を義務付ける。
2	地域包括医療に焦点を当て、「地域医療の実践 A1」で学んだことを基盤として、地域医療・地域保健の在り方について学ぶ「地域医療の実践 A2」の受講を義務付ける。
3	地域包括医療に焦点を当て、「地域医療の実践 A1」、「地域医療の実践 A2」で学んだことを基盤として、さらに深く地域医療について理解を深めるため、実習を主体とした「地域医療の実践 A3」の受講を義務付ける。
4	「地域医療の実践 A1」、「地域医療の実践 A2」、「地域医療の実践 A3」で学んだことを基盤として、さらに深く地域医療についての実状を理解するために、夏期休暇期間に実習科目「地域医療の実践 P4」の受講を義務付ける。
5・6	診療参加型臨床実習を行う。学内選択制臨床実習においては「1 内科・2 内科・3 内科」から 1 つ、「小児科または産婦人科」から 1 つ、「外科・救急」から 1 つの計 12 週間を必須選択とする。学外臨床実習においては、本学関連の医師不足地域・診療科施設、または地域枠を設置する各府県が指定する医療機関で 4 週間の実習を行う。

※5・6 学年は選択制臨床実習において実施する。

研究医養成コース・研究マインド育成プログラムのカリキュラム

研究医養成コース(6名)に対し、4月の新入生オリエンテーション時に説明を行い、準備カリキュラムである『研究マインド育成プログラム』に参加する学生を10～20名程度募集し、下記のカリキュラムを実施する予定です。

■研究マインド育成プログラム

学年	カリキュラム内容
1	【必須カリキュラム】 選択必修コースであるリベラルアーツセミナーにおいて、『リサーチマインドの実践セミナー』を必須受講し、近年のヒトゲノム完全解読をきっかけとして大きく変化してきている“ヒト”“疾患”“治療”等の最新の情報を、グループ学習で学ぶ。 【希望者のみ】 コンソーシアム合宿に参加し、他大学との交流を図る。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。 2 学年から始まる研究医養成コースへの履修を申請する。これまで自身が研究してきた内容を発表し、審査を受ける。

■研究医養成コース

学年	カリキュラム内容
2	【必須カリキュラム】 コンソーシアム合宿に参加し、他大学との交流を図る。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。
3、4	【必須カリキュラム】 コンソーシアム合宿に参加し、研究内容を発表する。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。 医学研究、実験方法の指導を受けることが理由の場合は、臓器別系統別コースの講義欠席を 1/2 に至らない範囲まで認める。(ただし、指導教員の証明する書類が必要。詳細は別に定める。)
5、6	【必須カリキュラム】 6 学年時に研究発表を行い、研究修了報告書を提出し、審査を受ける。 審査に合格した者を当該コースの修了者と定める。 【希望者のみ】 コンソーシアム合宿に参加し、研究内容を発表する。

※コンソーシアム合宿

連携大学(奈良県立医科大学、大阪医科薬科大学、兵庫医科大学、神戸大学、藤田医科大学)の研究医を目指す学生と合同で合宿を開催し、交流を図っています。

関西医科大学学則

第１章　使命及び目的

第１条　本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、特に私学の本領を発揮しつつ、独創的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る医療人を育成するとともに、深く医学、看護学及びリハビリテーション学を研究し、広く文化の発展と公共の健康・福祉に寄与することを使命とする。

２　本学は、建学の精神である慈しみ、めぐみ、愛を心の規範とした人材の養成に関する目的を、学部ごとに次のとおり定める。

（１）　医学部は、医学及び医療の進歩と質の向上に努め、豊かな人間性と知識を備え、生涯にわたり国際社会や地域社会に貢献できる医人を育成する。

（２）　看護学部は、幅広い教養と高い倫理観・人間愛を基盤とした思考力と判断力をもち、グローバルな視野のもと社会に貢献できる柔軟な創造力と行動力を備え、人々の生命・健康・生活を統合し時代や地域を超えて通用する高度な看護実践力をもつ人材を育成する。

（３）　リハビリテーション学部は、理学療法学及び作業療法学を中心に幅広い教養を基礎として、理学療法士、作業療法士として必要な知識と技術を教授し、将来にわたって活躍できる高度な実践力を持ち、専門職として多職種と連携し医療・社会に貢献できる人材を育成する。

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究及びこれに関連する活動等の状況について、自ら点検及び評価を行う。

２　前項の点検及び評価を行う評価体制及び評価項目は、別に定める。

第２章　組織、修業年限及び在学年限

第３条　本学に次の学部及び学科をおく。

医学部　医学科
看護学部　看護学科
リハビリテーション学部　理学療法学科
作業療法学科

第４条　医学部の修業年限は６年とする。

２　看護学部の修業年限は４年とする。

３　リハビリテーション学部の修業年限は４年とする。

第５条　医学部の在学年限は、通算10年を超えることはできず、かつ同一学年の在学年限は２年とする。ただし、同一学年の在学年限は、学長が特別の事由があると認めた場合は、１年を限度としてその期間を延長することができる。

２　看護学部の在学年限は８年以内とする。

３　リハビリテーション学部の在学年限は８年以内とする。

第３章　学年、学期及び休業日

第６条　学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

第７条　学年を次の学期に分ける。

医学部第１・２・３・４・５・６学年においては

１学期　４月１日から８月31日に至る。

２学期　９月１日から12月31日に至る。

３学期　翌年１月１日から３月31日に至る。
看護学部及びリハビリテーション学部第１・２・３・４学年においては
前期　４月１日から９月30日に至る。
後期　10月１日から翌年３月31日に至る。
第８条　定期休業日を次のとおり定める。
（１）　日曜日
（２）　国民の祝日
（３）　本大学創立記念日（６月30日）
（４）　毎月の第２・４土曜日
（５）　春季休業日
（６）　夏季休業日
（７）　冬季休業日
２　教育上必要な場合は、前項に定める休業日においても、授業　あるいは試験を行うことがある。また、春、夏、冬季の休業日は別に定める。
３　第１項第２号または第３号に定める休業日が、同項第１号に定める休日に当るときは、その翌日を休業日とする。

第４章　教育課程、授業科目及び履修方法等

第９条　１年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。
第10条　本学において教授する科目及び単位数は別表第１、別表第２、及び別表第３のとおりとする。
第11条　授業は、講義、演習、実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行うものとする。
２　前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。
３　授業科目の単位は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）により、原則として授業時間内での学修とそれ以外での自主的な学修とを合わせて45時間の学修内容をもって１単位とし、各授業の方法に応じ次の各号の基準により単位数を計算する。
（１）　講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって１単位とする。
（２）　実習については、30時間から45時間までの授業をもって１単位とする。
（３）　講義、演習または実習のうち二以上の方法により行う場合については、その組み合わせに応じ、前項に規定する基準を考慮した授業時間をもって１単位とする。
第12条　本学における教室、講座及び領域は、別表第４のとおりとする。

第５章　学科課程の修了認定

第13条　授業科目履修修了の認定は試験その他によって行う。
第14条　履修修了認定に関する細則は別に定める。
第15条　進級の認定については、学年末または大学が定めた時期に、当該学部長が第58条に定める当該教授会の議を経て学長に報告し、学長が決定する。

第６章　卒業及び学位

第16条　医学部においては６年以上在学し、第14条及び別表第１に定めるすべての授業科目に合格した者について、当該学部長は当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が卒業を認定した上、学士（医学）の学位を授与する。
２　看護学部においては４年以上在学し、第14条及び別表第２に定めるすべての授業科目に合格した

者について、当該学部長は当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が卒業を認定した上、学士（看護学）の学位を授与する。

3　リハビリテーション学部においては４年以上在学し、第14条及び別表第３に定めるすべての授業科目に合格した者について、当該学部長は当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が卒業を認定した上、理学療法学科　学士（理学療法学）、作業療法学科　学士（作業療法学）の学位を授与する。

第７章　入学

第17条　入学の時期は学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学はこの限りではない。

第18条　本学の入学資格は次の各号のいずれかに該当する者とする。

（１）　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者

（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者

（３）　学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

①　外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

④　文部科学大臣が指定した者

⑤　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑥　個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で18歳に達した者

第19条　入学は前条の資格のある者について、厳正な銓衡を行った上、学長がこれを許可する。

第20条　入学志願者は入学志願票に、所定の書類及び別に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

第21条　入学を許可された者は、保証人連署の誓約書及び所定の書類を提出しなければならない。

第22条　保証人は、独立の生計を営む成年者２名とし、うち１名は、父母又はこれに代わる保護者としなければならない。

2　前項の保証人が遠隔の地に居住しているときは、他の保証人は、原則として大阪府または近隣府県に住所を有する独立の生計を営む成年者でなければならない。

3　保証人は、学生在学中に係る一切の事項についてその責任を負うものとする。

第23条　保証人を変更する必要が生じた時は、速やかにその旨を届け出なければならない。

第24条　学生及び保証人が氏名、本籍（本人のみ）、住所等を変更した時は、直ちに届け出ねばならない。

第８章　欠席、休学、退学及び転学

第25条　疾病または事故などのため欠席する場合は、必ずその事由を届け出なければならない。疾病のために欠席７日以上に及ぶ場合は、医師の診断書を添えなければならない。

第26条　疾病または事故などやむを得ない事由で３カ月以上修学を中止しようとする場合は、期間を

定め、事由を証明する書類を添え、保護者連署で、休学を願い出なければならない。
第27条　休学期間は引き続き１年を超えることはできない。ただし、学長が特別の事由があると認めた場合は、１年を限度としてその期間を延長することができる。
２　休学期間は、通算２年を超えることができない。ただし、学長が特別の事由があると認めた場合は、原則１年を限度としてその期間を延長することができる。
３　休学の期間は、在学年限に算入しない。
第28条　本学が、疾病のため一定期間休養が必要であると認めた学生及び伝染性疾患のため他の学生に迷惑を及ぼす虞れがあると認めた学生に対しては、休学を命ずることがある。
第29条　休学期間内にその事由が終わったときは、復学を願い出て許可を得なければならない。ただし、疾病による休学者は医師の証明書の添付を必要とする。
第30条　疾病その他の事由で退学しようとする学生は、保護者連署で願い出て、学長の許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添えなければならない。
第31条　退学した者が再入学を願い出た時は、その理由、在学中の成績及び勤惰を銓衡して、原学年以下に再入学を許可することがある。
第32条　他の大学から本学に、転学を願い出た者がある時は、別に定める規定により、学長がこれを許可することがある。
第33条　本学から他の大学へ、転学を願い出た者がある時は、別に定める規定により、学長がこれを許可することがある。

第９章　賞罰及び除籍

第34条　成績優秀、操行善良で、他の模範であると認めた者は、これを褒賞することがある。
第35条　学生が本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した行為を行った時は、当該学部長が当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長がこれを懲戒する。
２　前項の懲戒の種類は、訓告・停学・退学とする。
３　前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。
（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
（２）　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
（３）　正当の理由がなくて出席常でない者
（４）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
４　前々項の規定により停学となった者の当該停学期間は、第５条に定める在学年限に算入する。
第36条　次の各号のいずれかに該当する者は、当該学部長が当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が除籍する。
（１）　正当な理由がなく授業料等規定の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
（２）　第５条に定める在学年限をこえた者
（３）　第27条に定める休学期間をこえた者

第10章　授業料その他の納入金

第37条　授業料・実験実習費及び施設設備費の金額並びに納入期は別表第５のとおりとする。
第38条　入学金及びその他の納入金の金額並びに納入期は別表第６のとおりとする。
第39条　授業料その他の納入金は、経済情況の変化により、その金額を変更することがある。また一旦納入した納入金は別に定めのある場合のほかは還付しない。

第11章　収容定員

第40条　本学学部における入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

医学部医学科　入学定員　収容定員

＊別表第７に定める

看護学部看護学科　入学定員　100名　収容定員　400名

リハビリテーション学部

理学療法学科　入学定員　60名　収容定員　240名

作業療法学科　入学定員　40名　収容定員　160名

第12章　委託生、聴講生及び外国人学生

第41条　本学に委託生を託された場合は、その学歴を銓衡してこれを許可することがある。

第42条　１科目または数科目の聴講生を許可することがある。

第43条　外国人学生を入学せしめることがある。外国人学生には特に規定ある場合の外は、一般規定を準用する。

第13章　公開講座

第44条　本学に公開講座を設けることがある。

第14章　学生の補導及び厚生

第45条　本学に補導厚生保健施設をおく。その規定は別に定める。

第15章　学生心得

第46条　学生心得は別にこれを定める。

第16章　職員組織

第47条　本学に学長をおく。

２　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

３　学長選考規程は別に定める。

第48条　本学に副学長をおく。

２　副学長は、学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。

３　副学長に関する規程は別に定める。

第49条　医学部に学部長をおく。医学部長選考規程は別に定める。

２　医学部長は、学長の命を受けて当該学部に関する校務をつかさどる。

３　看護学部に学部長をおく。看護学部長選考規程は別に定める。

４　看護学部長は、学長の命を受けて当該学部に関する校務をつかさどる。

５　リハビリテーション学部に学部長をおく。リハビリテーション学部長選考規程は別に定める。

６　リハビリテーション学部長は、学長の命を受けて当該学部に関する校務をつかさどる。

第50条　本学に学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する教授、准教授、講師、助教をおく。また、教育、研究の円滑な実施に必要な業務に従事する助手をおく。これらの定員及び資格については別にこれを定める。

第51条　本学の事務を処理するため事務職員をおく。

第52条　本学の教職員を、専任及び兼任に区別し、その勤務規定は別にこれを定める。

第17章　大学院

第53条　本学に、大学院を置く。

２　大学院学則は、別に定める。

第18章　附属施設

第54条　本学に附属病院を設ける。その規定は別に定める。

第55条　本学に附属生命医学研究所を設ける。その規定は別に定める。

第56条　本学に附属図書館を設ける。その規定は別に定める。

第57条　本学に附属光免疫医学研究所を設ける。その規定は別に定める。

第19章　教授会

第58条　医学部、看護学部及びリハビリテーション学部にそれぞれ教授を以って組織する教授会をおく。

第59条　教授会は学長がこれを招集、出席し、各学部の学部長が議長となる。

第60条　教授会は下記の事項を審議し、学長に対し意見を述べるものとする。

（１）　学長候補推挙に関する事項

（２）　本学学則制定及び改廃に関する事項

（３）　学科課程その他授業に関する事項

（４）　入学及び進級並びに卒業に関する事項

（５）　学位の授与

（６）　教育及び研究に関する事項

（７）　教授、准教授、その他教職員の選考に関する事項

（８）　学生の補導及び厚生に関する事項

（９）　大学運営会議に附議すべき議題の作成並びに決定事項の実施に関する事項

（10）　前各号に定める事項のほか、学長の諮問する事項

第61条　教授会は前条に定めるもののほか、学長及び学部長の求めに応じ、学長等がつかさどる校務に関する事項について審議または協議し、意見を述べるものとする。

第62条　教授会規程は別に定める。

第20章　大学運営会議

第63条　本学の医学部、看護学部及びリハビリテーション学部に共通する事項を審議または協議するために、大学運営会議をおく。

２　大学運営会議は、学長、副学長、各学部長、各研究科長、各学部事務部長及びその他学長が必要と認める教職員をもって組織する。

３　大学運営会議の組織、運営等に関する事項は、別に定める。

第21章　学則の改廃

第64条　学則の改廃は、各学部学部長が各学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定した内容に基づいて、理事会が行う。

別表第１　医学部単位表

科目区分	科目名		受講学年及び単位数							必修・選択の別
			第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	計	
ユニット	生体の構造と機能	Ａ１	6						6	必修
		Ｂ１	2						2	必修
		Ｂ２		2					2	必修
		Ｃ２		8					8	必修
		Ｐ１ａ	1						1	必修
		Ｐ１ｂ	4						4	必修
		Ｐ２ｂ		6					6	必修
		Ｐ２ｃ		1					1	必修
		Ｐ２ｄ		2					2	必修
	理工学からみた医療・医学	Ａ１	3						3	必修
		Ｂ３			1.5				1.5	必修
		Ｐ１	1						1	必修
	ＩＴからみた医療・医学	Ａ１	2						2	必修
	人間と社会	Ａ１	4						4	必修
		Ａ２		1					1	必修
		Ａ４				7.5			7.5	必修
		Ｐ１ａ	1						1	必修
		Ｐ１ｂ	1						1	必修
		Ｐ５					1		1	必修
	医療プロフェッショナルの実践	Ａ１	2						2	必修
		Ａ２		1					1	必修
		Ａ４				0.5			0.5	必修
	医学英語	Ａ１	6						6	必修
		Ａ２		2					2	必修
	健康科学	Ａ１	3						3	必修
	リベラルアーツセミナー	Ａ１	2						2	セミナーサブユニットより２科目以上を選択必修
	臨床実習入門	Ｐ１ｂ	0.5						0.5	必修
		Ｐ２		0.5					0.5	必修
		Ｐ３			0.5				0.5	必修

科目区分	科目名		受講学年及び単位数							必修・選択の別
			第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	計	
ユニット	臨床実習入門	Ｐ４ａ				2.5			2.5	必修
		Ｐ４ｂ				1			1	必修
		Ｐ４ｃ				2			2	必修
	白衣の日	Ｐ１	1						1	必修
		Ｐ２ａ		(0.5)					(0.5)	選択
		Ｐ２ｂ		(0.5)					(0.5)	選択
	ＬＰＢＬ	Ａ１	2						2	必修
		Ａ２		2					2	必修
		Ａ３			1				1	必修
		Ａ４				1			1	必修
	病因と病態	Ａ２		3					3	必修
	感染と生体防御	Ａ２		7					7	必修
		Ｐ２		1					1	必修
	リサーチマインドの実践	Ａ１	（１）						（１）	選択必修
		Ａ２		1					1	必修
		Ｐ３			3				3	必修
	地域医療の実践	Ａ１	（１）						（１）	選択必修
		Ａ２		1					1	必修
		Ａ３			1				1	必修
		Ｐ４				1			1	必修
臓器別系統別コース	内科総論				1				1	必修
	外科総論				3				3	必修
	放射線診断学				2				2	必修
	呼吸器				3				3	必修
	感染症				3				3	必修
	循環器				4.5				4.5	必修
	腎尿路				3				3	必修
	消化器				6				6	必修
	血液・移植				2.5				2.5	必修
	臨床腫瘍学				2				2	必修
	神経				4				4	必修
	免疫・膠原病・アレルギー				4				4	必修
	内分泌・代謝				2				2	必修
	臓器再建外科・再生医療				2				2	必修
	運動器				3				3	必修

科目区分	科目名	受講学年及び単位数							必修・選択の別
		第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	計	
臓器別系統別コース	リハビリテーション・地域包括医療			2				2	必修
	救急・中毒			3				3	必修
	麻酔・集中治療				3			3	必修
	眼・視覚				3			3	必修
	耳鼻咽喉・頭頸部外科				3			3	必修
	皮膚				2.5			2.5	必修
	精神・行動				4			4	必修
	全人的医療・行動科学				4			4	必修
	周産期・生殖器				4			4	必修
	小児の成長・発達				4			4	必修
臨床実習	内科学(１)					1.5		1.5	必修
	内科学(２)					1.5		1.5	必修
	内科学(３)					1.5		1.5	必修
	呼吸器腫瘍内科学					1		1	必修
	心療内科学					1		1	必修
	神経内科学					1		1	必修
	精神神経科学						3	3	必修
	小児科学						3	3	必修
	上部消化管外科学					1		1	必修
	下部消化管外科学					1		1	必修
	肝臓外科学					1		1	必修
	胆膵外科学					1		1	必修
	乳腺外科学					1		1	必修
	小児外科学					1		1	必修
	心臓血管外科学					1		1	必修
	呼吸器外科学					1		1	必修
	脳神経外科学					1		1	必修
	整形外科学					1		1	必修
	リハビリテーション医学					1		1	必修
	形成外科学					1		1	必修
	皮膚科学					1		1	必修
	腎泌尿器外科学					1		1	必修
	眼科学					1		1	必修

科目区分	科目名	受講学年及び単位数							必修・選択の別
		第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	計	
臨床実習	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学					1		1	必修
	放射線科学					1		1	必修
	産科学・婦人科学						3	3	必修
	麻酔科学					1		1	必修
	病態検査学					1		1	必修
	救急医学						3	3	必修
	選択制臨床実習						12	12	選択必修
	自由選択制臨床実習						6	6	選択必修（６単位修得）
まとめの講義							6.5	6.5	必修
合計		43.5	39.5	57	43	27.5	36.5	247	

別表第４

教室、講座及び領域

教室	数学、物理学、生物学、行動医学、英語
講座	解剖学講座、生理学講座、医化学講座、薬理学講座、病理学講座、微生物学講座、ｉＰＳ・幹細胞再生医学講座、ｉＰＳ・幹細胞応用医学講座、衛生・公衆衛生学講座、メディカルデータサイエンス講座、法医学講座、内科学第一講座、内科学第二講座、内科学第三講座、呼吸器腫瘍内科学講座、心療内科学講座、神経内科学講座、精神神経科学講座、小児科学講座、上部消化管外科学講座、下部消化管外科学講座、肝臓外科学講座、胆膵外科学講座、小児外科学講座、乳腺外科学講座、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学講座、脳神経外科学講座、整形外科学講座、リハビリテーション医学講座、形成外科学講座、皮膚科学講座、腎泌尿器外科学講座、眼科学講座、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、放射線科学講座、産科学・婦人科学講座、麻酔科学講座、救急医学講座

医学部履修修了認定に関する細則
（令和6年度以降入学者）

第１条　関西医科大学学則第14条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の17科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生18科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

ＩＴからみた医療・医学　Ａ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ｂ

白衣の日　Ｐ１

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目、自由選択科目２科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

自由選択科目：白衣の日　Ｐ２ａ、Ｐ２ｂ

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

医学英語　Ａ３

臨床実習入門　Ｐ３
ＬＰＢＬ　Ａ３
リサーチマインドの実践　Ｐ３
特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３
・コース
医学総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：
・ユニット
医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４
人間と社会　Ａ４
医学英語　Ａ４
臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ
ＬＰＢＬ　Ａ４
特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４
・コース
麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の26科目：
・人間と社会　Ｐ５
・臨床実習
内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝臓外科学、胆膵外科学、乳腺外科学、小児外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、麻酔科学、病態検査学

（６）　第６学年所定の７科目：
・臨床実習
小児科学、精神神経科学、産科学・婦人科学、救急医学
選択制臨床実習、自由選択制臨床実習
・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。
（１）　第３学年：プレＣＢＴ総合試験
（２）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ
（３）　第５学年：総合試験
（４）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験
（５）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。
（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。
（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。
①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系

大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、プレＣＢＴ総合試験、総合試験及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

② 本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③ ①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④ 各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第２学年まで：当該学年所定の全科目（第２学年白衣の日Ｐ２除く。）で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第３学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつプレＣＢＴ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３） 前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

① 講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

② 各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③ ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４） 成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１） 科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２） 卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３） 前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
１　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
２　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
３　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	

4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、プレＣＢＴ総合試験、総合試験及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の

12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６） 再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７） 再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８） 追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１） 進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２） 留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。

（３） 前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。

第１０条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則

本細則は、令和６年４月１日より施行し、令和６年度１学年に適用する。令和５年度１学年の学生が留年した場合の令和６年度１学年の履修については、別に定める。

附　則

本細則は、令和７年４月１日より施行する。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
				（5）
		B	1	（1）
				（2）
			2	
		C	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1 a	
			1 b	
			2 b	（1）
				（2）
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	ITからみた医療・医学	A	1	
Ⅳ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）

				（４）
			２	
			４	（１）
				（２）
				（３）
		Ｐ	１ａ	
			１ｂ	
			５	
Ⅴ	医療プロフェッショナリズムの実践	Ａ	１	
			２	
			４	
Ⅵ	医学英語	Ａ	１	（１）
				（２）
				（３）
			２	
			３	
			４	
Ⅶ	健康科学	Ａ	１	
Ⅷ	リベラルアーツセミナー	Ａ	１	
Ⅸ	臨床実習入門	Ｐ	１ｂ	
			２	
			３	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅹ	白衣の日	Ｐ	１	
			２ａ	
			２ｂ	
ⅩⅠ	ＬＰＢＬ	Ａ	１	
			２	
			３	
			４	
ⅩⅡ	病因と病態	Ａ	２	（１）
				（２）
ⅩⅢ	感染と生体防御	Ａ	２	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		Ｐ	２	
ⅩⅣ	リサーチマインドの実践	Ａ	１	
			２	
		Ｐ	３	
ⅩⅤ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	Ａ	１	
			２	
			３	
		Ｐ	４	

医学部履修修了認定に関する細則
（令和5年度入学者）

第１条　関西医科大学学則第14条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース
内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：
・ユニット
医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４
人間と社会　Ａ４
臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ
ＬＰＢＬ　Ａ４
特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４
・コース
麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の26科目：
・人間と社会　Ｐ５
・臨床実習
内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝臓外科学、胆膵外科学、乳腺外科学、小児外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、麻酔科学、病態検査学

（６）　第６学年所定の７科目：
・臨床実習
小児科学、精神神経科学、産科学・婦人科学、救急医学
選択制臨床実習、自由選択制臨床実習
・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年：総合試験
（２）　第３学年：プレＣＢＴ総合試験
（３）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ
（４）　第５学年：総合試験
（５）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験
（６）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、プレＣＢＴ総合試験、総合試験及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

②　本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）

及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第２学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第３学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつプレＣＢＴ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（1）　診断書又は（2）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（1）　「出生届」又は（2）　「出産証明書」
（1）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（2）　配偶者（２日）	
3　忌引	（1）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（2）　死亡を確認できる公的証明書等
（1）　父母・配偶者・子（５日）	
（2）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書

7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、プレＣＢＴ総合試験、総合試験及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。
（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。
第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。
（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。
（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。
（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。
第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則
本細則は、令和５年４月１日より施行する。
附　則
本細則は、令和６年４月１日より施行し、令和６年度２学年に適用する。令和５年度２学年の学生が留年した場合の令和６年度１学年の履修については、別に定める。
附　則
本細則は、令和７年４月１日より施行する。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		B	1	
			2	
		C	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1 a	
			1 b	
			2 b	（1）
				（2）
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
			2	
			4	（1）
				（2）

				（３）
		P	１ａ	
			１ｂ	
			５	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	
Ⅴ	医学英語	A	1	（１）
				（２）
				（３）
			2	
Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	１ａ	
			１ｂ	
			2	
			3	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
			4	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（１）
				（２）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（令和4年度入学者）

第１条　関西医科大学学則第14条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｃ１、Ｐ１

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース

内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４

人間と社会　Ａ４

臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ

ＬＰＢＬ　Ａ４

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース

麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の26科目：

・人間と社会　Ｐ５

・臨床実習

内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝臓外科学、胆膵外科学、乳腺外科学、小児外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、麻酔科学、病態検査学

（６）　第６学年所定の７科目：

・臨床実習

小児科学、精神神経科学、産科学・婦人科学、救急医学

選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年から第２学年まで：総合試験

（２）　第３学年：プレＣＢＴ総合試験

（３）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（４）　第５学年：総合試験

（５）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（６）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、総合試験及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

②　本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえ

で判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第２学年まで：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第３学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつプレＣＢＴ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、プレＣＢＴ総合試験、総合試験及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。
（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。
第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則
本細則は、令和４年度１学年より適用する。
附　則（令和５年４月18日第05―21号）
本細則は、令和５年４月１日より施行する。
附　則（令和６年４月11日第05―688号）
本細則は、令和６年４月１日より施行する。
附　則
本細則は、令和７年４月１日より施行する。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		B	1	
			2	
		C	1	
			2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1	
			2 b	
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
			2	
			4	（1）
				（2）
				（3）
		P	1 a	
			1 b	

			5	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	
Ⅴ	医学英語	A	1	（１）
				（２）
				（３）
			2	
Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	１ａ	
			１ｂ	
			2	
			3	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（１）
				（２）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（令和2年度以降入学者）

第１条　関西医科大学学則第14条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｃ１、Ｐ１

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ａ、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース

内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４

人間と社会　Ａ４、Ｐ４

臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ

ＬＰＢＬ　Ａ４

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース

麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の26科目：

・臨床実習

内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝臓外科学、胆膵外科学、乳腺外科学、小児外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、麻酔科学、病態検査学

・人間と社会　Ｐ５

（６）　第６学年所定の７科目：

・臨床実習

小児科学、精神神経科学、産科学・婦人科学、救急医学

選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年から第３学年まで：総合試験

（２）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（３）　第５学年：総合試験

（４）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（５）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、総合試験及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

②　本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第３学年まで：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症に	診断書

よる出席停止	
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、総合試験及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。

（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。

第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則

本細則は、令和２年度１学年より適用する。

附　則（令和２年４月１日第9248号）

本細則は、令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和３年３月29日第9379号）

本細則は、令和３年度１・２学年より適用する。

附　則（令和４年４月22日第04―23号）

本細則は、令和４年度２・３学年より適用する。

附　則（令和５年４月18日第05―22号）

本細則は、令和５年４月１日から施行する。

附　則（令和６年４月11日第05―689号）

本細則は令和６年４月１日から施行する。ただし、令和６年度４学年の所定科目のうち「人間と社会Ｐ４」及び令和６年度５学年の所定科目のうち「人間と社会Ｐ５」については令和６年度進級判定に必要な所定科目の対象外とする。

附　則

本細則は令和７年４月１日から施行する。ただし、令和７年度６学年の所定科目のうち臨床実習（小児科学、精神神経科学、産科学・婦人科学、救急医学）については既修得単位のため令和７年度必要な所定科目の対象外とする。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		B	1	
			2	
		C	1	（１）
				（２）
			2	（１）
				（２）
				（３）
		P	1	
			2 a	
			2 b	
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（１）
				（２）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
			2	

			4	（１）
				（２）
				（３）
		P	１ａ	
			１ｂ	
			4	
			5	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	
Ⅴ	医学英語	A	1	（１）
				（２）
				（３）
			2	
Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	１ａ	
			１ｂ	
			2	
			3	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（１）
				（２）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（平成 30 年度以降入学者）

第１条　関西医科大学学則第14条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目について、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｃ１、Ｐ１

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ａ、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース

内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４

人間と社会　Ａ４、Ｐ４

臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ

ＬＰＢＬ　Ａ４

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース

麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の24科目：

・臨床実習

内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学

（６）　第６学年所定の３科目：

・臨床実習

選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年から第３学年まで：総合試験

（２）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（３）　第５学年：クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）

（４）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（５）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

②　本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第３学年まで：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつクリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書, 文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員	裁判所からの通知書

候補者に選任された場合	

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。

（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。

第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則
本細則は、平成30年度１学年より適用する。
附　則（平成31年４月１日）
本細則は、平成31年度１・２学年より適用する。
附　則（令和２年４月１日）
本細則は、令和２年度２・３学年より適用する。
附　則（令和２年４月１日第9186号）
本細則は、令和２年度１・２・３学年より適用する。
附　則（令和２年４月１日第9248号）
本細則は、令和２年４月１日から施行する。
附　則（令和３年３月29日第9378号）
本細則は、令和３年度３・４学年より適用する。
附　則（令和４年４月22日第04―22号）
本細則は、令和４年度４・５学年より適用する。
附　則（令和５年４月18日第05―23号）
本細則は、令和５年４月１日から施行する。
附　則（令和６年４月11日第05―690号）
本細則は、令和６年４月１日から施行する。
附　則
１　本細則は、令和７年４月１日から施行する。
２　令和７年度６学年のうち、本学が指名する学生については、第４条に定める６学年所定の科目に代えて別に定める臨床医学演習を受講のうえ、第５条に定める必須試験を受験する。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		B	1	
			2	
		C	1	（1）
				（2）
			2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1	
			2 a	
			2 b	
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）

				（３）
				（４）
			２	
			４	（１）
				（２）
				（３）
		Ｐ	１ａ	
			１ｂ	
			４	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	Ａ	１	
			２	
			４	
Ⅴ	医学英語	Ａ	１	（１）
				（２）
				（３）
			２	
Ⅵ	健康科学	Ａ	１	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	Ａ	１	
Ⅷ	臨床実習入門	Ｐ	１ａ	
			１ｂ	
			２	
			３	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	Ａ	１	
			２	
			３	
			４	
Ⅹ	病因と病態	Ａ	２	（１）
				（２）
ⅩⅠ	感染と生体防御	Ａ	２	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		Ｐ	２	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	Ａ	１	
			２	
		Ｐ	３	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	Ａ	１	
			２	
			３	
		Ｐ	４	

関西医科大学医学部における学生の成績等の開示及び異議申立てに関する規程

（趣旨）

第１条　この規程は、関西医科大学医学部（以下「医学部」という。）における学生の成績等の開示及び異議申立てに関し、必要な事項を定める。

２　社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の共用試験（以下「共用試験」という。）の成績等は、この規程の対象外とする。

（対応組織）

第２条　学生の成績等の開示及び異議申立てに関する対応は、医学部教務委員会がこれを担う。

（成績等の開示）

第３条　医学部で実施する各科目試験、プレＣＢＴ総合試験、総合試験及び卒業試験における成績等の開示の範囲は別表のとおりとする。

第４条　医学部の学生は、前条に掲げる試験等の問題に疑義がある場合は当該学生の学年代表者を通じて、試験終了日の翌日（翌日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）17 時 00 分までに申し出ることができる。

２　学年代表者は、前項の期限内に医学部教務部長宛の「疑義照会申請書（別記様式第１号）」を医学部の教務事務担当者に提出しなければならない。

３　医学部教務部長は、前項の「疑義照会申請書（別記様式第１号）」を受理した場合、当該試験の責任者に通知の上、速やかに調査を開始し、その結果を当該学生の学年代表者に回答しなければならない。

４　疑義照会の回答に対する異議申立ては、これを認めない。

（異議申立て）

第５条　医学部の学生は、次の各号のいずれかに該当することを理由とする場合に限り、異議申立てを行うことができる。ただし、異議申立ての内容が、教学上の判定に関し、救済措置を依頼するものである場合、個人的事情を依頼するなどの歎願と見受けられる内容である場合、他学生と比較し不満を訴えるものである場合、または、内容が不明確で具体的かつ明確な根拠がない場合については、異議申立てを受け付けない。

（１）第 3 条に掲げる試験等の試験結果の誤記入等、明らかに担当教員の採点誤りであると想定できるとき。

（２）成績評価に関し、シラバスや担当教員が授業時間内に指示等により周知している成績評価の基準及び方法とは明らかに逸脱したものであると想定できるとき。

２　異議申立ての受付期間は、第１項第１号の場合は第 3 条に掲げる試験結果を発表した日の翌日（翌日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）から、同項第２号の場合はあらかじめ周知した成績発表の公示日翌日（翌日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）から、それぞれ３日以内（３日目日が、土曜日、日

曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）のそれぞれ 17 時 00 分までとする。

3　異議申立てを行う学生は、前項の期限内に「教学上の判定及び試験結果に関する異議申立書（別記様式第２号）」（以下「異議申立書」という。）を医学部長に提出しなければならない。

4　医学部長は、前項の「異議申立書」を受理した場合、速やかに調査等を行い、申立ての日の翌日から起算して原則として７日以内に異議申立てに対する回答（却下、認定または継続調査）を行うものとする。

5　前項の異議申立てに対する回答への異議申立ては、これを認めない。

6　医学部長は、第４項の調査等を行った結果、大学側に過失が認められたとき又は疑義が想定されるに至ったとき等の理由で、申立ての日の翌日から７日以内に回答することが困難な場合は、当該学生に状況を説明するとともに、その内容を学長及び教育担当副学長に報告し、当該対応について協議するものとする。

7　第４項に規定する調査等の方法については、医学部長が別に定める。

8　第４項に規定する調査等を行う者（以下「調査担当者」という。）が当該調査科目の担当教員である場合は、調査担当者になることはできない。この場合、学長（医学部長が当該調査科目の担当教員でない場合は、医学部長）は代替の調査担当者を指名するものとする。

（調査及び調査結果報告等）

第６条　医学部長は、異議申立てに関する調査の結果、大学側に過失が認められたとき又は疑義が想定されるとき等は、過失又は疑義の発生原因が特定される時期まで遡って、直ちに組織的に調査等を行うものとし、その具体的手法については、医学部長及び医学部教務部長が協議の上決定するものとする。

2　前項の調査等は、異議申立ての日の翌日から起算して原則として 30 日以内に終了するものとし、調査終了後、医学部長は、速やかに調査等の結果を学長及び教育担当副学長に報告するものとする。ただし、調査等に時間を要する場合は、適宜進捗状況を申立てた当該学生に報告するものとする。

3　医学部長は、異議申立てを行った当該学生に対し、適宜、調査等の経過を説明するとともに、調査等終了後にはその結果を説明するものとする。

4　医学部長は、調査等の結果、大学側に成績評価等における重大な過失又は疑義が判明し、成績評価の訂正の必要が生じた場合は、担当教員から速やかに成績訂正願を提出させ、当該学生の成績評価を訂正する。

5　医学部長は、前項の結果を受け、成績評価基準、進級判定基準等の在り方について、点検及び見直しを行うこととし、併せて、重大な過失が判明した場合については、学外有識者等による検証も実施するものとする。

（改廃）

第７条　この規程の改廃は、医学部教務委員会の議を経て、医学部長が決定する。

附　　則

この規程は、令和７年４月１日から施行する。

別表

試験種類	試験点数	合格基準点	平均点	試験問題	解答例又は正解のポイント
各科目試験					
本試験	◎	60 点	○	○	○
追・再試験	○	60 点	×	△	△
プレ CBT 総合試験					
(3 学年総合試験)	○	60 点	○	○	○
追・再試験	○	※ 1	○	○	○
総合試験					
総合試験①	◎	※ 2　絶対評価	○	○	○
総合試験②	◎		○	○	○
追・再試験	○	※ 1	○	○	○
卒業試験					
(卒業試験①)	◎	※2　絶対評価	○	○	○
(卒業試験②)	◎		○	○	○
追・再試験①	○	※ 1	○	○	○
追・再試験②	○	※2	×	○	○

試験点数：◎印の点数開示は試験結果発表予定日、○印の点数開示は留年者には進級及び卒業判定発表後速やかに、進級・卒業者にはガイダンス等にて開示する。

合格基準点：※１印の試験における試験点数及び合格基準点は、進級及び卒業判定を発表する際に開示する。※２印の試験における絶対評価の試験点数及び合格基準点は、シラバスにて開示する。

平均点、試験問題、解答例又は正解のポイント：○印は開示し、×印は開示しない。△は科目責任者による判断とする。

大学生活におけるアンプロフェッショナル行動について

関西医科大学では医療従事者を目指す学生として、相応しくない態度・言動・行動をする学生（アンプロフェッショナルな学生）に対して指導を行います。

１．アンプロフェッショナルな学生の定義

・医療系学生として相応しくない態度・言動・行動をする学生

・明らかに常識が欠如していて、社会性や倫理性に問題があり、将来医療従事者として、医療機関等に従事することが相応しくないと考えられる学生

・病院内の実習において、医療安全及び倫理の面から、このままでは将来、患者に関わるべきではないと考えられる学生

これらのアンプロフェッショナル行動は、価値観や性格で図るものではありません。次に示す行動が疾病や障がいに起因するものであると考えられる場合は速やかに学部事務部に相談してください。(「関西医科大学 障がいのある学生の支援に関する方針」参照)

２．アンプロフェッショナルな行動の例

1. 時間・規律の遵守

★授業・実習の遅刻、無断欠席、出席不正（出席代行、授業・実習の中抜けなど）

★課題の未提出、締切を守らない

・集合時間を守らない

2. 患者への敬意・配慮の欠如

★患者のプライバシー・個人情報などをエレベーター、学外などで話す

★患者の前での私語、居眠りなど不適切な態度

3. 倫理観・社会規範の欠如

★解剖実習での不適切な行動（ご遺体への敬意不足）

★試験におけるカンニング、レポートの捏造や剽窃

★守秘義務違反（SNS などでの情報漏洩）

★法令に反する行為（盗難、暴力、禁煙場所で喫煙、未成年飲酒など）

4. 身だしなみ・清潔感の問題

★服装が乱れている（実習着が汚れているなど）

★髪色が派手、不潔な格好

★病院内での定められた感染対策、行動規制を遵守しない

5. 学習意欲・責任感の欠如

★講義・実習中、他の学生へ迷惑がかかるレベルの私語

・学習意欲がない、積極性がない、居眠りをする

・必要な予習・復習をしない

6. 態度・振る舞いの問題

・同僚・医療スタッフ・教職員などに挨拶をしない、敬語が使えない
・高圧的・横柄な態度、礼儀がない
・教員や指導者の話を聞かない
・他人への配慮不足（大声での会話、ふざけた行動）

7. コミュニケーション・協調性の欠如

・チームワークを乱す、協力しない
・感謝・謝罪をしない
・他人を見下す、見た目や態度を否定する発言
・周囲のモチベーションを下げる行動

８．その他、アンプロフェッショナルな行動分類に関係する行為

上記行動が教職員等によって学部事務部に報告された場合は指導運用指針に基づき、教務委員会等において対応が検討されます。行動に対して、指導・注意勧告を行い、特に★の項目についてその行動が複数回認められる場合、**懲戒の対象**（関西医科大学学生の懲戒等に関する規程 参照）となることがあります。

アンプロフェッショナルな学生の指導運用指針

アンプロフェッショナルな学生の指導内容の判断基準は、原則として以下の方針で運用するが、特に必要と判断した場合は、事例ごとに柔軟に運用する。

なお、この運用指針は在学中において全て継続するものであり、別事案であっても当該学生の報告回数に加算されていくものとする。過去に別事案で懲戒処分を受けたことがある学生については、都度対応を検討する。

1回目の事例報告

↓

報告内容により、教務委員会等然るべき委員会（以下、「委員会」という。）の何れかにおいて情報を共有する。

共有の後、教務部長及び学生部長（以下、「両部長」という。）の何れかが、当該学生と面談し、指導及び注意勧告を行う。

↓

2回目の事例報告

↓

委員会において情報を共有する。

両部長の何れかが、当該学生と面談し、指導及び注意勧告を行う。

必要に応じて、当該事例に関わった教職員の同席も認める。

3 回目の事例報告が出された場合は、保護者同席による面談を行い、懲戒処分の対象となる可能性があることを通告する。

↓

3回目の事例報告

↓

委員会において情報を共有する。

保護者同席による面談を行い、懲戒処分の対象となることを通告する。

※報告回数に関わらず、その内容が「極めて重大な事例で、看過できない」場合、1回目の報告であっても、懲戒処分の対象となる場合がある。

気象警報発令時等における試験・講義・実習の取扱いについて

1.気象警報等による休講について

1)試験・講義・実習(※1 を除く)の場合

午前 7 時の時点で特別警報(※2)又は台風による暴風警報が下記(※3)のいずれかの地域で発令されている場合、その日の午前中(1、2 時限目)の試験・講義・実習(※1 を除く)は休講とする。なお、午前 11 時において特別警報又は台風による暴風警報の発令が継続されている場合は全日休講とし、いずれも解除されている場合は、午後(3 時限目)から試験・講義・実習(※1 を除く)を行う。

2)実習(※1)の場合

午前 7 時の時点で特別警報又は台風による暴風警報が下記(※3)のいずれかの地域で発令されている場合、その日の実習(※1)は休講とする。

3)特例措置

災害等(地震、風水害、雪害、広域停電および落雷)の緊急事態が発生し、試験・講義・実習に支障があると判断した場合は、その都度、大学から指示するので、これに従うこと。

2.京阪電気鉄道(本線)の交通ストライキ又は不通による休講について

1)試験・講義・実習(※1 を除く)の場合

午前 7 時の時点で京阪電気鉄道(本線)が運休している場合、その日の午前中(1、2 時限目)の試験・講義・実習(※1 を除く)は休講とする。なお、午前 11 時において運休が継続している場合は全日休講とし、解除されている場合は、午後(3 時限目)から試験・講義・実習(※1 を除く)を行う。

2)実習(※1)の場合

午前 7 時の時点で京阪電気鉄道(本線)が運休している場合、その日の実習(※1)は休講とする。

※1　本学附属の病院で行う実習(1～4 学年)、クリニカル・クラークシップ(5、6 学年)
(但し 1～6 学年ともに学外施設は別とし、先方に指示を仰ぐこと)。

※2　特別警報とは警報の発表基準をはるかに超える規模で起きる様な甚大な災害、被害が発生する恐れがあり、最大級の警戒をする必要がある場合に適用される警報のことを言う。　　例　大雨特別警報、暴風特別警報、高潮特別警報

※3　特別警報又は台風による暴風警報の発令域は大阪府 3 地区(北大阪、東部大阪、大阪市)、京都府(山城中部)のいずれかの地域とする。

大阪府	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	大阪市	大阪市
京都府	山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町

(注)本学への電話等の問合せは一切受け付けない

(各学生は自主的に判断すること)

試験時の交通機関延着について

試験開始から４０分以内に到着した場合で、延着証明書を提出すれば、試験会場に入室できる。

４０分を超えた場合は、本試験が欠席扱いとなり、追試験を受験する。その場合、延着証明書を添付し、試験欠席届および追試験受験願を医学部事務部教務課に提出しなければならない。

「延着」…居所から通学のために利用する交通機関において延着事由が生じ、当該交通機関の延着証明書を有する場合に限る。

公共交通機関を用いない者については、理由の如何にかかわらず、延着を認めない。

令和7年度　教務関係日程表

※令和7年4月1日現在（変更の可能性有り）

1学年	
4/5(土)	入学式
4/7(月)～9(水)	新入生健康診断・ガイダンス
4/10(木)	１学期開講
4/24(木)･25(金)	合宿研修
5/3(土)～5/6(火)	休講(5月連休)
6/30(月)	創立記念日
7/22(火)	１学期終講
7/23(水)～8/18(月)	夏季休業
8/19(火)	２学期開講
10/31(金)～11/2(日)	学園祭
12/19(金)	２学期終講
12/22(月)～1/4(日)	冬季休業
1/5(月)	３学期開講
2/2(月)	３学期終講
3/11(水)	卒業式

2学年	
4/7(月)	１学期開講
4/23(水)	学生定期健康診断
5/3(土)～5/6(火)	休講(5月連休)
6/30(月)	創立記念日
7/11(金)	１学期終講
7/14(月)～8/15(金)	夏季休業
8/18(月)	２学期開講
10/31(金)～11/2(日)	学園祭
12/18(木)	２学期終講
12/19(金)～1/4(日)	冬季休業
1/5(月)	３学期開講
1/23(金)･26(月)･27(火)	臨床実習 P2(看護実習)
2/9(月)	３学期終講
3/11(水)	卒業式

3学年	
4/7(月)	１学期開講
4/22(火)	学生定期健康診断
5/3(土)～5/6(火)	休講(5月連休)
5/15(木)	解剖体追悼法要
6/27(金)･7/7(月)･7/15(火)	臨床実習 P3(医療面接入門)
6/30(月)	創立記念日
7/22(火)	１学期終講
7/23(水)～8/15(金)	夏季休業
8/18(月)	２学期開講
10/31(金)～11/2(日)	学園祭
12/19(金)	２学期終講
12/22(月)～1/4(日)	冬季休業
1/5(月)	３学期開講
1/5(月)	プレCBT総合試験
1/6(火)～2/9(月)	リサーチ P3(配属実習)
2/9(月)	３学期終講
3/11(水)	卒業式

4学年	
4/7(月)	１学期開講
4/22(火)	学生定期健康診断
5/3(土)～5/6(火)	休講(5月連休)
6/30(月)	創立記念日
7/31(木)	１学期終講
8/1(金)～8/15(金)	夏季休業
8/18(月)	２学期開講
9/10(水)	共用試験 ＣＢＴ
9/11(木)～10/2(木)	臨床実習 P4a(総合臨床医学実習)
10/3(金)～10/4(土)	臨床実習前 OSCE
10/6(月)～10/10(金)・11/12(水)･13(木)	臨床実習 P4b(医療情報学)
10/14(火)～11/11(火)	臨床実習 P4c(プレクリニカル・クラークシップ)
10/31(金)～11/2(日)	学園祭
未定	白衣授与式
12/8(月)～12/19(金)	臨床実習
12/19(金)	２学期終講
12/22(月)～1/4(日)	冬季休業
1/5(月)	３学期開講
1/5(月)～3/19(木)	臨床実習
3/11(水)	卒業式
3/19(木)	3学期終講

5学年	
3/31(月)	１学期開講
3/31(月)～8/1(金)	臨床実習
4/23(水)	学生定期健康診断
5/3(土)～5/9(金)	休講(5月連休)
未定	CC中間検討会
8/1(金)	１学期終講
8/4(月)～8/20(水)	夏季休業
8/21(木)	２学期開講
8/21(木)	総合試験①
8/25(月)～12/19(金)	臨床実習
10/23(木)	総合試験②
12/19(金)	２学期終講
12/22(月)～1/4(日)	冬季休業
1/5(月)	３学期開講
1/5(月)～3/19(木)	臨床実習
3/11(水)	卒業式
3/19(木)	３学期終講

6学年	
3/31(月)	１学期開講
3/31(月)～7/18(金)	臨床実習
4/7(月)	学生定期健康診断
5/3(土)～5/9(金)	休講(5月連休)
7/19(土)	臨床実習後 OSCE
7/19(土)	１学期終講
7/22(火)～8/15(金)	夏季休業
8/18(月)	２学期開講
8/18(月)～8/19(火)	卒業試験①
8/25(月)～10/10(金)	まとめの講義(予備・自習含む)
10/15(水)～10/16(木)	卒業試験②
10/17(金)	２学期終講
10/20(月)	冬季休業開始(以降自習期間)
3/11(水)	卒業式

注)休講日及び休業期間においても試験・授業等を行うことがあるので、注意すること。

令和7年度1学期【週当り時間割】

3学年コース　4学年コース

令和7年4月1日現在
（変更の可能性あり）

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
春休み	学年	3/17(月)					3/18(火)					3/19(水)					3/20(木)					3/21(金)					3/22(土)
	1																休講（春分の日）										
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					
春休み	学年	3/24(月)					3/25(火)					3/26(水)					3/27(木)					3/28(金)					3/29(土)
	1																										
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5																										
	6																										
1W	学年	3/31(月)					4/1(火)					4/2(水)					4/3(木)					4/4(金)					4/5(土)
	1																										入学式
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
2W	学年	4/7(月)					4/8(火)					4/9(水)					4/10(木)					4/11(金)					4/12(土)
	1	健康診断			IT A1		ガイダンス期間					ガイダンス期間					IT A1		理工A1(1)		生体A1(1)	英語A1	生体A1(1)		医プロA1 オリ	地域A1 オリ	
	2	生体B2		生体P2b(2)			生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(2)			生体B2						英語A2	生体P2b(1)			
	3	内科総論			理工B3		内科総論					内科総論		理工B3			内科総論					内科総論		理工B3			
	4	① 4/7～4/16：麻酔・集中治療																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)			健康診断		臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
3W	学年	4/14(月)					4/15(火)					4/16(水)					4/17(木)					4/18(金)					4/19(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	健康A1		LPBL A1 オリ			生体A1(1)			英語A1		生体P1a				生体A1(1)	理工A1(1)		生体A1(1)	英語A1		生体P1a			
	2	生体C2(1)		生体P2b(1)				生体C2(1)	生体P2b(1)			生体C2(1)					生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3	内科総論			理工B3		内科総論					内科総論			理工B3		外科総論					外科総論		理工B3			
	4	① 4/7～4/16：麻酔・集中治療															② 4/17～4/28：眼・視覚										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50						
4W	学年	4/21(月)					4/22(火)					4/23(水)					4/24(木)					4/25(金)					4/26(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	健康A1			医プロA1	理工A1(1)	白衣の日P1オリ	生体A1(1)		英語A1		A:LPBL A1①	B:LPBL A1①		合宿研修日					合宿研修日					
	2	生体B2		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)		健康診断			生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3	外科総論			理工B3		外科総論		健康診断			②4/17～5/1 ： 外科総論															
	4	② 4/17～4/28：眼・視覚							健康診断			② 4/17～4/28：眼・視覚															
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)			健康診断		臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
5W	学年	4/28(月)					4/29(火)					4/30(水)					5/1(木)					5/2(金)					5/3(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	健康A1		生体A1(1)	休講（昭和の日）					英語A1		生体P1a				生体A1(1)	理工A1(1)		白衣の日P1オリ	英語A1	IT A1	生体P1a			休講（憲法記念日）
	2	生体C2(1)		生体P2b(1)													生体B2										
	3	②4/17～5/1 ： 外科総論										②4/17～5/1 ： 外科総論															
	4	② 4/17～4/28：眼・視覚										麻酔 本試験 14:00～15:00		眼・視覚 本試験 15:30～16:30		地域P4オリ	③ 5/1～5/15：耳鼻					医プロA4 IPE					
	5	臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
6W	学年	5/5(月)					5/6(火)					5/7(水)					5/8(木)					5/9(金)					5/10(土)
	1	休講（こどもの日）					休講（振替休日）					英語A1		生体A1(1)		医プロA1			理工A1(1)		地域A1	英語A1	地域A1	生体P1a			
	2											生体C2(1)		人間A2オリ			生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3												内科総論 本試験 14:00～15:00		外科総論 本試験 15:30～16:30		③ 5/8～5/12： 放射線診断学										
	4											③ 5/1～5/15：耳鼻咽喉・頭頸部外科															
	5																										
	6																										
7W	学年	5/12(月)					5/13(火)					5/14(水)					5/15(木)					5/16(金)					5/17(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1		ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ		英語A1		生体A1(1) 本試験 13:00～14:45		医プロA1	日本語辞書 ｾﾐﾅｰ	生体A1(2)	理工A1(1)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(2)	生体P1a			ｾﾐﾅｰ
	2	生体B2		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(1)			生体B2		生体P2b(1)			生体C2(1)						英語A2	生体P2b(1)			
	3	③ 5/8～5/12： 放射線診断学					④ 5/13～5/19 ： 臨床腫瘍学										（解剖体追悼法要）					④ 5/13～5/19 ： 臨床腫瘍学					
	4	③ 5/1～5/15：耳鼻咽喉・頭頸部外科																				④ 5/16～5/23 皮膚					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
8W	学年	5/19(月)					5/20(火)					5/21(水)					5/22(木)					5/23(金)					5/24(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1		ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ		TOEFL 9:00～11:35		生体A1(2)			生体A1(2)	IT A1	理工A1(1)		ｾﾐﾅｰ	医プロA1 IPE					
	2	生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(2)					生体P2b(2)								
	3	④ 5/13～5/19 ： 臨床腫瘍学											放射線診断学 本試験 14:00～15:00		臨床腫瘍学 本試験 15:30～16:30		5/22～6/3： 腎尿路										
	4	④ 5/16～5/23 皮膚																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
9W	学年	5/26(月)					5/27(火)					5/28(水)					5/29(木)					5/30(金)					5/31(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体P1a			生体A1(2)		理工A1(1)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(2)	生体P1a			ｾﾐﾅｰ
	2	生体B2 本試験 9:30～10:40					生体C2(1)		生体P2b(2)			人間A2	LPBL A2	生体P2b(2)									英語A2	生体P2b(1)本試験 13:00～16:00			
	3	5/22～6/3： 腎尿路																									
	4		耳鼻 本試験 14:00～15:00		皮膚 本試験 15:30～16:30		⑤ 5/27～6/5：精神・行動																				
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
10W	学年	6/2(月)					6/3(火)					6/4(水)					6/5(木)					6/6(金)					6/7(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1			医プロA1	LPBL A1	生体A1(2)		英語A1		B:LPBL A1			IT A1	生体A1(2)	理工A1(1)		ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体P1a			ｾﾐﾅｰ
	2		生体C2(2)				生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)						英語A2				
	3	5/22～6/3： 腎尿路										⑥ 6/4～6/13 ： 感染症															
	4	⑤ 5/27～6/5：精神・行動																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
11W	学年	6/9(月)					6/10(火)					6/11(水)					6/12(木)					6/13(金)					6/14(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ		生体A1(2)	A:LPBL A1			理工A1(1) 本試験 9:30～11:00		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	IT A1	生体A1(2)		イノベセミナー	地域A1	
	2	生体C2(1) 本試験 9:30～10:30						生体C2(2)	生体P2b(2)					生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)					生体P2b(2)			
	3	⑥ 6/4～6/13：感染症																									
	4				精神・行動 本試験 15:30～16:30		＊6/10～6/27:人間A4																				
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
12W	学年	6/16(月)					6/17(火)					6/18(水)					6/19(木)					6/20(金)					6/21(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1					生体A1(2) 本試験 9:30～11:15		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(3)		医プロA1		ｾﾐﾅｰ 地域A1
	2	生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)	LPBL A2	LPBL A2			生体C2(2)		生体P2b(2)				英語A2	生体P2b(2)			
	3		腎尿路 本試験 14:00～15:00		感染症 本試験 15:30～16:30		⑦ 6/17～7/2 ： 循環器																				
	4	＊6/10～6/27:人間A4																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
13W	学年	6/23(月)					6/24(火)					6/25(水)					6/26(木)					6/27(金)					6/28(土)
	1	人間A1(1) 本試験 9:00～10:00	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		LPBL A1				生体A1(3)	理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(3)		地域A1		
	2		人間A2	生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)							生体P2b(2)				英語A2				
	3	⑦ 6/17～7/2：循環器																				臨床実習入門P3 ガイダンス					
	4	＊6/10～6/27:人間A4																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
14W	学年	6/30(月)					7/1(火)					7/2(水)					7/3(木)					7/4(金)					7/5(土)
	1	休講（創立記念日）					白衣の日P1			セミナー	セミナー	英語A1						生体A1(3)	理工A1(2)		セミナー	英語A1	生体A1(3)	IT A1		地域A1	セミナー
	2								生体C2(2) 本試験 13:00～14:30		人間A2			生体P2b(2)				人間A2	生体P2b(2)				英語A2	生体P2b(2)			
	3						⑦ 6/17～7/2：循環器																	循環器 本試験 14:00～15:00			
	4						人間A4(1)(3) 本試験 10:30～12:00			人間A4(2) 本試験 15:40～16:50		⑥ 7/2～7/14：全人的医療・行動科学															
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
15W	学年	7/7(月)					7/8(火)					7/9(水)					7/10(木)					7/11(金)					7/12(土)
	1		人間A1(3)	生体A1(3)			白衣の日P1			セミナー	セミナー	英語A1					医プロA1	人間A1(3)	白衣の日P1	生体A1(3)		英語A1	生体A1(3)	IT A1		基礎生物学セミナー	
	2			生体P2b(2)					生体P2b(2)										生体P2b(2) 本試験 13:00～16:00				英語A2	生体P2b(2)			
	3	臨床実習入門P3					⑧ 7/8～7/18：呼吸器																				
	4	⑥ 7/2～7/14：全人的医療・行動科学																									
	5	人間P5(社会医学実習)					人間P5(社会医学実習)					人間P5(社会医学実習)					人間P5(社会医学実習)					人間P5(社会医学実習)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
16W	学年	7/14(月)					7/15(火)					7/16(水)					7/17(木)					7/18(金)					7/19(土)
	1		人間A1(3)							健康A1 本試験 15:00～16:00		英語A1							生体A1(3) 本試験 13:30～15:15			英語A1		IT A1			臨床実習後OSCE
	2											生体B2 再試験 9:30～10:40										生体C2(1) 再試験 9:30～10:30					
	3	⑧ 7/8～7/18：呼吸器					臨床実習入門P3					⑧ 7/8～7/18：呼吸器															
	4	⑥ 7/2～7/14：全人的医療・行動科学													全人的医療 本試験 15:30～16:30		⑦7/17～7/29：周産期・生殖器										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習後OSCE
夏休み	学年	7/21(月)					7/22(火)					7/23(水)					7/24(木)					7/25(金)					7/26(土)
	1	休講（海の日）					人間A1(3) 本試験 10:00～11:00							生体A1(1) 再試験 13:00～14:45								理工A1(1) 再試験 9:30～11:00					
	2						2学年夏季休業→																				
	3								呼吸器 本試験 14:00～15:00		地域A3オリ		内科総論 再試験 14:00～15:00		外科総論 再試験 15:30～16:30								放射線診断学 再試験 14:00～15:00		臨床腫瘍学 再試験 15:30～16:30	
	4						⑦7/17～7/29：周産期・生殖器																				
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6						6学年夏季休業→																				
夏休み	学年	7/28(月)					7/29(火)					7/30(水)					7/31(木)					8/1(金)					8/2(土)
	1	人間A1(1) 再試験 9:00～10:00					1学年夏季休業→																				
	2	2学年夏季休業→																									
	3		腎尿路 再試験 14:00～15:00		感染症 再試験 15:30～16:30		3学年夏季休業→																				
	4	⑦7/17～7/29：周産期・生殖器																		周産期 本試験 15:30～16:30			麻酔 再試験 14:00～15:00		眼・視覚 再試験 15:30～16:30		
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	6学年夏季休業→																									

令和7年度2学期【週当り時間割】

3学年コース　4学年コース

令和7年4月1日現在
（変更の可能性あり）

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
夏休み	学年	8/4(月)					8/5(火)					8/6(水)					8/7(木)					8/8(金)					8/9(土)
	1	1学年夏季休業→																									
	2	2学年夏季休業→																									
	3	3学年夏季休業→																									
	4		耳鼻 再試験 14:00～15:00		皮膚 再試験 15:30～16:30		4学年夏季休業→																				
	5	5学年夏季休業→																									
	6	6学年夏季休業→																									
夏休み	学年	8/11(月)					8/12(火)					8/13(水)					8/14(木)					8/15(金)					8/16(土)
	1	山の日					1学年夏季休業→																				
	2						2学年夏季休業→																				
	3						3学年夏季休業→																				
	4						4学年夏季休業→																				
	5						5学年夏季休業→																				
	6						6学年夏季休業→																				
1W	学年	8/18(月)					8/19(火)					8/20(水)					8/21(木)					8/22(金)					8/23(土)
	1				生体A1(2) 再試験 14:30～16:15		白衣の日P1							人間A1(3) 再試験 13:00～14:00					生体A1(3) 再試験 13:00～14:45			地域A1					
	2			生体P2c					生体P2c								生体C2(2) 再試験 9:30～11:00		生体P2c				英語A2	生体P2c			
	3	⑨ 8/18～9/5：消化器																									
	4	⑧ 8/18～8/28：小児の成長・発達																				地域P4					
	5																総合試験①					総合試験①（予備日）					
	6	卒業試験①					卒業試験①					卒業試験①（予備日）															
2W	学年	8/25(月)					8/26(火)					8/27(水)					8/28(木)					8/29(金)					8/30(土)
	1	人間A1(2)		ｾﾐﾅｰ	生体A1(4)	医プロA1	白衣の日P1		ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ		英語A1		理工P1	生体A1(4)			生体A1(4)	理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(4)		IT A1		ｾﾐﾅｰ
	2	生体C2(3)		生体P2c			生体C2(3)					生体C2(3)		生体P2c			生体C2(3)		生体P2c				英語A2	人間A2	生体C2(3)		
	3	⑨ 8/18～9/5：消化器																									
	4	⑧ 8/18～8/28：小児の成長・発達																									
	5	臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					
	6	まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					
3W	学年	9/1(月)					9/2(火)					9/3(水)					9/4(木)					9/5(金)					9/6(土)
	1	人間A1(2)		ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1		ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ		英語A1		B:理工P1 数				生体A1(4)	理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(4)			医プロA1	ｾﾐﾅｰ
	2	生体C2(3)					生体C2(3)	医プロA2				生体C2(3)					生体C2(3)						英語A2		生体P2b(1) 再試験 15:00～16:30		
	3	⑨ 8/18～9/5：消化器																									
	4				小児 本試験 15:30～16:30																						
	5	臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					
	6	まとめの講義					臨床実習後OSCE追・再試験					臨床実習後OSCE追・再試験					まとめの講義					まとめの講義					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
4W	学年	9/8(月)					9/9(火)					9/10(水)					9/11(木)					9/12(金)					9/13(土)
	1	人間 A1(2)		ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	CBT本試					生体A1(4)		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語 A1		A:理工P1 数			
	2	生体C2(3)					生体C2(3)		白衣の日P2オリ	LPBL A2	LPBL A2						生体C2(3)						英語 A2		生体P2b(2) 再試験 15:00～16:30		
	3			消化器 本試験 14:00～15:00			⑩ 9/9～9/19：運動器										⑩ 9/9～9/19：運動器										
	4											CBT本試					☆ 9/11～10/2：臨床実習入門P4a										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	まとめの講義					まとめの講義										まとめの講義					まとめの講義					
5W	学年	9/15(月)					9/16(火)					9/17(水)					9/18(木)					9/19(金)					9/20(土)
	1	休講(敬老の日)					白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1	LPBL②A				生体A1(4)		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語 A1	生体A1(4)		LPBL②B		6学年 臨床実習後 OSCEやり直し 試験
	2						生体C2(3)	LPBL A2	LPBL A2			白衣の日P2a						生体C2(3)			人間 A2		英語 A2	生体 C2(3)	感染A2(4)		
	3						⑩ 9/9～9/19：運動器																				
	4						☆ 9/11～10/2：臨床実習入門P4a																				
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6						まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					やり直し試験
6W	学年	9/22(月)					9/23(火)					9/24(水)					9/25(木)					9/26(金)					9/27(土)
	1	人間 A1(2)		ｾﾐﾅｰ	健康A1		休講(秋分の日)					英語A1	A:理工P1 数物				生体A1(4) 本試験 9:30～11:15	地域A1	理工 A1(2)	ｾﾐﾅｰ			生体 A1(5)	A:理工P1 数 B:理工P1 物			
	2			地域A2 オリ	感染A2(4)							白衣の日P2a															
	3	地域A3										⑪ 9/24～10/7：神経															
	4	☆ 9/11～10/2：臨床実習入門P4a										☆ 9/11～10/2：臨床実習入門P4a															
	5	臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	まとめの講義										まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					
7W	学年	9/29(月)					9/30(火)					10/1(水)					10/2(木)					10/3(金)					10/4(土)
	1	人間 A1(2)			健康A1		白衣の日P1			生体 A1(5)			A:理工P1 物 B:理工P1 数				生体A1(5)		医プロ A1			臨床実習前 OSCE					臨床実習前 OSCE
	2	生体C2(3) 本試験 9:30～10:40								感染A2(4)		白衣の日P2a					感染A2(1)										
	3	⑪ 9/24～10/7：神経																									
	4	☆ 9/11～10/2：臨床実習入門P4a																				臨床実習前OSCE					臨床実習前 OSCE
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										
	6	まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義										
8W	学年	10/6(月)					10/7(火)					10/8(水)					10/9(木)					10/10(金)					10/11(土)
	1	人間 A1(2)		ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	理工A1(2) 本試験 9:30～11:00	A:理工P1 数 B:理工P1 物					医プロ A1	生体A1(5)		ｾﾐﾅｰ	地域 A1	生体A1(5)		人間 P1b	医プロ A1	
	2		医プロ A2	病因A2(1)			感染A2(4)					白衣の日P2a					感染A2(1)		感染 A2(4)	病因A2(1)							
	3	⑪ 9/24～10/7：神経																運動器 本試験 14:00～15:00		神経 本試験 15:30～16:30		⑫ 10/10～10/24：免疫・膠原病・アレルギー					
	4	☆ 10/6～10/10：臨床実習入門P4b																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					まとめの講義					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
9W	学年	10/13(月)					10/14(火)					10/15(水)					10/16(木)					10/17(金)					10/18(土)
	1	休講(スポーツの日)					白衣の日P1			セミナー	セミナー	英語A1		LPBL③A		人間P1b		生体A1(5)		人間P1b		英語A1	生体A1(5)	A:理工P1 物 B:理工P1 数			医プロ
	2						感染A2(4)		LPBL A2	LPBL A2	医プロ A2	白衣の日P2a			病因A2(1)		感染A2(1)						英語A2	地域A2			
	3						⑫ 10/10～10/24：免疫・膠原病・アレルギー																				
	4						☆ 10/14～11/11：臨床実習入門P4c																				
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6											卒業試験②					卒業試験②					卒業試験②(予備日)					
10W	学年	10/20(月)					10/21(火)					10/22(水)					10/23(木)					10/24(金)					10/25(土)
	1	人間A1(2)		セミナー	健康A1		CBT追・再試験						生体A1(5)	A:理工P1 数 B:理工P1 物			医プロ A1	生体A1(5)	人間P1b:A			英語A1	生体A1(5)	A:理工P1 物 B:理工P1 数			
	2	病因A2(1)		医プロ A2	感染A2(1)								感染A2(4)	人間A2	感染A2(1)		感染A2(1)		病因A2(1)	感染A2(2) 寄生虫			英語A2		感染A2(4)		
	3	⑫ 10/10～10/24：免疫・膠原病・アレルギー										⑫ 10/10～10/24：免疫・膠原病・アレルギー															
	4	☆ 10/14～11/11：臨床実習入門P4c					CBT追・再試験					☆ 10/14～11/11：臨床実習入門P4c															
	5																総合試験②					総合試験②(予備日)					
	6																										
11W	学年	10/27(月)					10/28(火)					10/29(水)					10/30(木)					10/31(金)					11/1(土)
	1	人間A1(2)		セミナー	健康A1		白衣の日P1			セミナー	セミナー	英語A1		LPBL③B					人間P1b:B			学園祭準備日					学園祭
	2	感染A2(1)		感染A2(2) 寄生虫		人間A2			感染A2(2) 寄生虫				感染A2(4)		感染A2(2) 寄生虫	医プロ A2	感染A2(1)		人間A2	感染A2(1)							
	3	⑬ 10/27～11/7：内分泌・代謝																									
	4			周産期 再試験 14:00～15:00				精神・行動 再試験 14:00～15:00		全人的医療 再試験 15:30～16:10		人間A4(2) 再試験 9:30～10:30	人間A4(3) 再試験 11:00～11:40		人間A4(1) 再試験 11:55～13:00					小児 再試験 14:00～15:00								
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
12W	学年	11/3(月)					11/4(火)					11/5(水)					11/6(木)					11/7(金)					11/8(土)
	1	休講(文化の日)					白衣の日P1			臨床入門P1b オリ	イノベセミナー	生体A1(5) 本試験 9:30～11:15		LPBL④A			生体B1(1)		TOEFL セミナー	セミナー			生体B1(1)	医プロ A1			
	2						感染A2(1)		病因A2(2)				感染A2(4)				病因A2(2)		生体P2d				英語A2	生体P2d			
	3						⑬ 10/27～11/7：内分泌・代謝																				
	4						臨床実習前OSCE追・再試験					臨床実習前OSCE追・再試験					☆ 10/14～11/11：臨床実習入門P4c										臨床実習前OSCE やり直し試験
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
13W	学年	11/10(月)					11/11(火)					11/12(水)					11/13(木)					11/14(金)					11/15(土)
	1	人間A1(2) 本試験 9:00～10:00		セミナー	健康A1			生体B1(1)	臨床実習入門P1b		地域A1	英語A1		LPBL④B								英語A1	生体B1(1)				セミナー
	2			生体P2d			病因A2(2)		生体P2d			病因A2(1)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d				英語A2				地域A2
	3		免疫 本試験 14:00～15:00		内分泌・代謝 本試験 15:30～16:30		⑭ 11/11～11/17：臓器再建外科・再生医療																				
	4	☆ 10/14～11/11：臨床実習入門P4c										☆ 11/12～11/13：臨床実習入門P4b（電子カルテ演習）															
	5	臨床実習(クリクラ)					総合試験 追・再試験					総合試験 追・再試験(予備日)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																卒業試験 追・再試験					卒業試験 追・再試験(予備日)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
14W	学年	11/17(月)					11/18(火)					11/19(水)					11/20(木)					11/21(金)					11/22(土)
	1				健康A1		白衣の日P1			人間P1b		生体B1(1)										生体B1(1)	人間P1b				
	2	感染A2(1) 本試験 9:30～11:00		生体P2d					生体P2d					生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)	英語A2	生体P2d			
	3	⑭ 11/11～11/17：臓器再建外科・再生医療					⑮11/18～11/26：血液・移植																				
	4																										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
15W	学年	11/24(月)					11/25(火)					11/26(水)					11/27(木)					11/28(金)					11/29(土)
	1	休講（振替休日）					白衣の日P1															生体B1(1) 本試験 9:30～10:30					
	2						感染A2(2)		生体P2d			病因A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			
	3						⑮11/18～11/26：血液・移植																臓器再建 本試験 14:00～15:00		血液・移植 本試験 15:30～16:30		
	4																										
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
16W	学年	12/1(月)					12/2(火)					12/3(水)					12/4(木)					12/5(金)					12/6(土)
	1	臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					地域A1
	2	感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			病因A2(2)		感染A2(2)			医学英語A2 本試験 9:30～11:00			病因A2(2)		
	3	⑯ 12/1～12/5：リハビリテーション・地域包括医療																									
	4																										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
17W	学年	12/8(月)					12/9(火)					12/10(水)					12/11(木)					12/12(金)					12/13(土)
	1			生体P1b										生体P1b					生体P1b			生体A1(4) 再試験 9:30～11:15		生体P1b			
	2			感染A2(4) 本試験 13:00～15:00															感染A2(2) 本試験 13:30～15:00			地域A2					
	3	⑰ 12/8～12/17：救急・中毒																				地域A3					
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
冬休み	学年	12/15(月)					12/16(火)					12/17(水)					12/18(木)					12/19(金)					12/20(土)
	1	理工A1(2) 再試験 9:30～11:00					英語A1(1) 本試験 10:00～11:00					英語A1(3) 本試験 9:30～12:30										英語A1(2) 本試験 10:00～11:00					
	2									病因A2(1) 本試験 15:30～16:30									病因A2(2) 本試験 13:00~14:00								
	3	⑰ 12/8～12/17：救急・中毒																					リハビリ 本試験 14:00～15:00		救急 本試験 15:30～16:30		
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
冬休み	学年	12/22(月)					12/23(火)					12/24(水)					12/25(木)					12/26(金)					12/27(土)
	1	1学年冬季休業→																									年末年始大学休業
	2	生体C2(3) 再試験 9:30～10:40					2学年冬季休業→																				
	3		循環器 再試験 14:00～14:40		呼吸器 再試験 15:30～16:30								消化器 再試験 14:00～15:00										運動器 再試験 14:00～15:00		神経 再試験 15:30～16:30		
	4	4学年冬季休業→																									
	5	5学年冬季休業→																									
	6	6学年冬季休業→																									

令和7年度3学期【週当り時間割】

3学年コース　4学年コース

令和7年4月1日現在
(変更の可能性あり)

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
1W	学年	12/29(月)					12/30(火)					12/31(水)					1/1(木)					1/2(金)					1/3(土)
	1	年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業
	2																										
	3																										
	4																										
	5																										
	6																										
2W	学年	1/5(月)					1/6(火)					1/7(水)					1/8(木)					1/9(金)					1/10(土)
	1			生体P1b			生体B1(2)	生体P1b					生体B1(2)	生体P1b				生体B1(2)	生体P1b				生体B1(2)	生体P1b			
	2			生体C2(4)			リサーチA2					白衣の日P2b			LPBL A2	LPBL A2	リサーチA2				生体C2(4)	リサーチA2				生体C2(4)	
	3	プレCBT総合試験					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
3W	学年	1/12(月)					1/13(火)					1/14(水)					1/15(木)					1/16(金)					1/17(土)
	1	休講（成人の日）					白衣の日P1						生体B1(2)	生体P1b				生体B1(2)	生体P1b				生体B1(2)	生体P1b			TOEFL2回目 9:20～12:00
	2						生体C2(4)					白衣の日P2b			LPBL A2	LPBL A2	生体C2(4)					生体C2(4)		感染P2			
	3						リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
4W	学年	1/19(月)					1/20(火)					1/21(水)					1/22(木)					1/23(金)					1/24(土)
	1	生体A1(5) 再試験 9:30～11:15		生体P1b			白衣の日P1							生体P1b					生体P1b			生体B1(2) 本試験 9:30～10:30		生体P1b			
	2	生体C2(4)		感染P2			生体C2(4)		感染P2			白衣の日P2b					生体C2(4) 本試験 10:00～11:00		感染P2			臨床実習入門P2(看護実習) ガイダンス					
	3	リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
5W	学年	1/26(月)					1/27(火)					1/28(水)					1/29(木)					1/30(金)					1/31(土)
	1	入試A1(2) 再試験 9:00～10:00		生体P1b					生体P1b				白衣の日P1	生体P1b					生体P1b			英語A1(2) 再試験 10:00～11:00					入試(医)
	2	臨床実習入門P2(看護実習)					臨床実習入門P2(看護実習)					白衣の日P2b							感染P2			感染P2					
	3	リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
6W	学年	2/2(月)					2/3(火)					2/4(水)					2/5(木)					2/6(金)					2/7(土)
	1			生体P1b 本試験 14:00～16:30						健康A1 再試験 15:00～16:00												入試(看)					
	2		感染P2					感染P2				白衣の日P2b			感染P2		感染P2										
	3	リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3										
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										
	6																										
7W	学年	2/9(月)					2/10(火)					2/11(水)					2/12(木)					2/13(金)					2/14(土)
	1	生体B1(1) 再試験 9:30～10:30					英語A1(1) 再試験 10:00～11:00					休講（建国記念の日）										英語A1(3) 再試験 10:00～11:00					
	2			感染P2 本試験 13:00～14:00					感染A2(4) 再試験 13:00～15:00										感染A2(1) 再試験 13:30～15:00					病因A2(2) 再試験 13:00～14:00			
	3	リサーチマインドの実践P3																					免疫 再試験 14:00～15:00		内分泌・代謝 再試験 15:30～16:30		
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
8W	学年	2/16(月)					2/17(火)					2/18(水)					2/19(木)					2/20(金)					2/21(土)
	1	生体B1(2) 再試験 9:30～10:30												生体P1b 再試験 13:00～15:30													
	2			感染A2(2) 再試験 13:30～15:00										病因A2(1) 再試験 13:00～14:00								英語A2 再試験 10:30～12:00					
	3							臓器再建 再試験 14:00～15:00		血液・移植 再試験 15:30～16:30								リハビリ 再試験 14:00～15:00		救急 再試験 15:30～16:30							
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
9W	学年	2/23(月)					2/24(火)					2/25(水)					2/26(木)					2/27(金)					2/28(土)
	1	休講(天皇誕生日)																									
	2						生体C2(4) 再試験 10:00～11:00																				
	3																					プレCBT総合試験　追・再試験					
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
春休み	学年	3/2(月)					3/3(火)					3/4(水)					3/5(木)					3/6(金)					3/7(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
春休み	学年	3/9(月)					3/10(火)					3/11(水)					3/12(木)					3/13(金)					3/14(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6											卒業式															
春休み	学年	3/16(月)					3/17(火)					3/18(水)					3/19(木)					3/20(金)					3/21(土)
	1	1学年春季休業→																				休講(春分の日)					
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										
	6																										
春休み	学年	3/23(月)					3/24(火)					3/25(水)					3/26(木)					3/27(金)					3/28(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5	5学年春季休業→																									
	6																										

3月最終週は、新2～4、6学年のガイダンスが入る予定。

3月最終週は、新2～4、6学年のガイダンスが入る予定。

令和7年度【1学年】試験日程

※令和7年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			ユニットディレクター／サブユニットディレクター
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	生体A1(1)	5/14(水)	13:00～14:45	試験・実習室	5/28(水)	7/23(水)	13:00～14:45	第1講義室	平野教授
2	生体A1(2)	6/19(木)	9:30～11:15	試験・実習室	7/3(木)	8/18(月)	14:30～16:15	第1講義室	平野教授
3	生体A1(3)	7/17(木)	13:30～15:15	試験・実習室	7/31(木)	8/21(木)	13:00～14:45	第1講義室	平野教授
4	生体A1(4)	9/25(木)	9:30～11:15	試験・実習室	10/9(木)	12/12(金)	9:30～11:15	第1講義室	平野教授
5	生体A1(5)	11/5(水)	9:30～11:15	試験・実習室	11/19(水)	1/19(月)	9:30～11:15	第1講義室	平野教授
6	生体B1(1)	11/28(金)	9:30～10:30	試験・実習室	12/12(金)	2/9(月)	9:30～10:30	第1講義室	小林教授
7	生体B1(2)	1/23(金)	9:30～10:30	試験・実習室	2/6(金)	2/16(月)	9:30～10:30	第1講義室	小林教授
8	生体P1b	2/2(月)	14:00～16:30	試験・実習室	2/16(月)	2/18(水)	13:00～15:30	試験・実習室	北田教授
9	理工A1(1)	6/12(木)	9:30～11:00	試験・実習室	6/26(木)	7/25(金)	9:30～11:00	第1講義室	北脇教授
10	理工A1(2)	10/8(水)	9:30～11:00	試験・実習室	10/22(水)	12/15(月)	9:30～11:00	第1講義室	北脇教授
11	人間A1(1)	6/23(月)	9:00～10:00	試験・実習室	7/8(火)	7/28(月)	9:00～10:00	第1講義室	岡田講師
12	人間A1(2)	11/10(月)	9:00～10:00	試験・実習室	11/24(月)	1/26(月)	9:00～10:00	第1講義室	笠井講師
13	人間A1(3)	7/22(火)	10:00～11:00	試験・実習室	8/5(火)	8/20(水)	13:00～14:00	第1講義室	近藤教授
14	医学英語A1(1)	12/16(火)	10:00～11:00	試験・実習室	1/6(火)	2/10(火)	10:00～11:00	第1講義室	ブルーヘルマンス教授
15	医学英語A1(2)	12/19(金)	10:00～11:00	試験・実習室	1/9(金)	1/30(金)	10:00～11:00	第1講義室	ブルーヘルマンス教授
16	医学英語A1(3)	12/17(水)	9:30～12:30	学生セミナー室　他	1/7(水)	2/13(金)	10:00～11:00	第1講義室/試験・実習室	ブルーヘルマンス教授
17	健康科学A1	7/15(火)	15:00～16:00	試験・実習室	7/29(火)	2/3(火)	15:00～16:00	第1講義室	木村教授

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。
※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。
※　各ユニットおよびサブユニット試験の本試験結果は、KMULASを通じて速やかに素点を開示するので、復習に役立てること。

令和7年度【2学年】試験日程

※令和7年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			ユニットディレクター／サブユニットディレクター
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	生体B2	5/26(月)	9:30～10:40	試験・実習室	6/9(月)	7/16(水)	9:30～10:40	第2講義室	小林教授
2	生体C2(1)	6/9(月)	9:30～10:30	試験・実習室	6/23(月)	7/18(金)	9:30～10:30	第2講義室	小林教授
3	生体C2(2)	7/1(火)	13:00～14:30	試験・実習室	7/15(火)	8/21(木)	9:30～11:00	第2講義室	中村教授
4	生体C2(3)	9/29(月)	9:30～10:40	試験・実習室	10/13(月)	12/22(月)	9:30～10:40	第2講義室	中邨教授
5	生体C2(4)	1/22(木)	10:00～11:00	試験・実習室	2/5(木)	2/24(火)	10:00～11:00	第2講義室	人見教授
6	生体P2b(1)	5/30(金)	13:00～16:00	試験・実習室/解剖実習室	6/13(金)	9/5(金)	15:00～16:30	試験・実習室	北田教授
7	生体P2b(2)	7/10(木)	13:00～16:00	試験・実習室/解剖実習室	7/24(木)	9/12(金)	15:00～16:30	試験・実習室	北田教授
8	医学英語A2	12/5(金)	9:30～11:00	試験・実習室	12/26(金)	2/20(金)	10:30～12:00	第2講義室	ブルーヘルマンス教授
9	病因A2(1) [病理]	12/16(火)	15:30～16:30	試験・実習室	1/6(火)	2/18(水)	13:00～14:00	第2講義室	蔦教授
10	病因A2(2) [ゲノム]	12/18(木)	13:00～14:00	試験・実習室	1/8(木)	2/13(金)	13:00～14:00	第2講義室	日笠教授
11	感染A2(1) [細菌学・真菌学]	11/17(月)	9:30～11:00	試験・実習室	12/1(月)	2/12(木)	13:30～15:00	第2講義室	大隈教授
12	感染A2(2) [ウイルス学・医動物学]	12/11(木)	13:30～15:00	試験・実習室	12/25(木)	2/16(月)	13:30～15:00	第2講義室	大隈教授
13	感染A2(4) [免疫学]	12/8(月)	13:00～15:00	試験・実習室	12/22(月)	2/10(火)	13:00～15:00	試験・実習室	植田准教授

■本試験以外の試験

No	科目	試験名	月日	時間	場所	備考	ユニットディレクター／サブユニットディレクター
14	感染P2	実習試問	2/9(月)	13:00～14:00	試験・実習室	筆記試験	大隈教授

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。
※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。
※　各ユニットおよびサブユニット試験の本試験結果は、KMULASを通じて速やかに素点を開示するので、復習に役立てること。

令和7年度【3学年】試験日程

※令和7年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目・コース	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			科目・コース責任者
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	内科総論	5/7(水)	14:00～15:00	試験・実習室	5/28(水)	7/23(水)	14:00～15:00	第3講義室	長沼教授
2	外科総論	5/7(水)	15:30～16:30	試験・実習室	5/28(水)	7/23(水)	15:30～16:30	第3講義室	海堀教授
3	放射線診断学	5/21(水)	14:00～15:00	試験・実習室	6/11(水)	7/25(金)	14:00～15:00	第3講義室	谷川教授
4	臨床腫瘍学	5/21(水)	15:30～16:30	試験・実習室	6/11(水)	7/25(金)	15:30～16:30	第3講義室	谷川教授
5	腎尿路	6/16(月)	14:00～15:00	試験・実習室	7/7(月)	7/28(月)	14:00～15:00	第3講義室	木下(秀)教授
6	感染症	6/16(月)	15:30～16:30	試験・実習室	7/7(月)	7/28(月)	15:30～16:30	第3講義室	伊藤教授
7	循環器	7/4(金)	14:00～15:00	試験・実習室	7/25(金)	12/22(月)	14:00～14:40	第3講義室	未定
8	呼吸器	7/22(火)	14:00～15:00	試験・実習室	8/18(月)	12/22(月)	15:30～16:30	第3講義室	倉田教授
9	消化器	9/8(月)	14:00～15:00	試験・実習室	9/29(月)	12/24(水)	14:00～15:00	第3講義室	長沼教授
10	運動器	10/9(木)	14:00～15:00	試験・実習室	10/30(木)	12/26(金)	14:00～15:00	第3講義室	齋藤教授
11	神経	10/9(木)	15:30～16:30	試験・実習室	10/30(木)	12/26(金)	15:30～16:30	第3講義室	藥師寺教授
12	免疫・膠原病・アレルギー	11/10(月)	14:00～15:00	試験・実習室	12/1(月)	2/13(金)	14:00～15:00	第3講義室	伊藤教授
13	内分泌・代謝	11/10(月)	15:30～16:30	試験・実習室	12/1(月)	2/13(金)	15:30～16:30	第3講義室	入江教授
14	臓器再建外科・再生医療	11/28(金)	14:00～15:00	試験・実習室	12/19(金)	2/17(火)	14:00～15:00	第3講義室	覚道教授
15	血液・移植	11/28(金)	15:30～16:30	試験・実習室	12/19(金)	2/17(火)	15:30～16:30	第3講義室	伊藤教授
16	リハビリテーション・地域包括医療	12/19(金)	14:00～15:00	試験・実習室	1/13(火)	2/19(木)	14:00～15:00	第3講義室	長谷教授
17	救急・中毒	12/19(金)	15:30～16:30	試験・実習室	1/13(火)	2/19(木)	15:30～16:30	第3講義室	鍬方教授
18	プレCBT総合試験	1/5(月)	10:00～11:30	試験・実習室	未定	2/27(金)	10:00～11:30	試験・実習室	—

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。
※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。

令和7年度【4学年】試験日程

※令和7年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目・コース	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			コース責任者／ユニットディレクター／サブユニットディレクター
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	麻酔・集中治療	4/30(水)	14:00～15:00	試験・実習室	5/21(水)	8/1(金)	14:00～15:00	第4講義室	上林教授
2	眼・視覚	4/30(水)	15:30～16:30	試験・実習室	5/21(水)	8/1(金)	15:30～16:30	第4講義室	今井教授
3	耳鼻咽喉・頭頸部外科	5/26(月)	14:00～15:00	試験・実習室	6/16(月)	8/4(月)	14:00～15:00	第4講義室	八木教授
4	皮膚	5/26(月)	15:30～16:30	試験・実習室	6/16(月)	8/4(月)	15:30～16:30	第4講義室	谷崎教授
5	精神・行動	6/9(月)	15:30～16:30	試験・実習室	6/30(月)	10/28(火)	14:00～15:00	第4講義室	加藤教授
6	全人的医療・行動科学	7/16(水)	15:30～16:30	試験・実習室	8/6(水)	10/28(火)	15:30～16:10	第4講義室	蓮尾教授
7	周産期・生殖器	7/31(木)	15:30～16:30	試験・実習室	8/28(木)	10/27(月)	14:00～15:00	第4講義室	岡田教授
8	小児の成長・発達	9/1(月)	15:30～16:30	試験・実習室	9/22(月)	10/30(木)	14:00～15:00	第4講義室	金子教授
9	人間と社会　A4(1)	7/1(火)	10:30～12:00	試験・実習室	7/22(火)	10/29(水)	11:55～13:00	試験・実習室	甲田教授
10	人間と社会　A4(2)	7/1(火)	15:40～16:50	試験・実習室	7/22(火)	10/29(水)	9:30～10:30	試験・実習室	赤根教授
11	人間と社会　A4(3)	7/1(火)	10:30～12:00	試験・実習室	7/28(金)	10/29(水)	11:00～11:40	試験・実習室	甲田教授
12	CBT	9/10(水)	終日	試験・実習室	未定	10/21(火)	終日	試験・実習室	—
13	臨床実習前 OSCE	10/3(金)	終日	学生セミナー室他	未定	11/4(火)	別途指示	学生セミナー室他	—
		10/4(土)	終日	学生セミナー室他		11/5(水)			

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。

※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。

令和7年度　講義室・実習室年間使用予定表

場所＼月	1学期				2学期					3学期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（枚方学舎1階）試験・実習室	［1・2・3・4学年］試験				［1・2・3・4学年］試験 ［5学年］総合試験① ［6学年］卒業試験①	［4学年］共用試験 CBT	［4学年］共用試験 CBT再試験 ［6学年］卒業試験② ［5学年］総合試験②	［5学年］総合試験 再試験 ［6学年］卒業試験 再試験		［1・2・3学年］試験 ［3学年］プレCBT 総合試験	［3学年］プレCBT 再試験	
（枚方学舎1階）加多乃講堂	［1学年］健康科学講義				［6学年］まとめの講義	［1学年］健康科学講義						
（枚方学舎1階）第1講義室	［1学年］講義			［1学年］再試験	［1学年］再試験 ［1学年］講義	［1学年］理工P1			［1学年］再試験	［1学年］講義	［1学年］再試験	
（枚方学舎2階）第2講義室	［2学年］講義			［2学年］再試験	［2学年］再試験 ［2学年］講義				［2学年］再試験	［2学年］講義	［2学年］再試験	
（枚方学舎2階）第3講義室	［3学年］講義			［3学年］再試験	［3学年］講義				［3学年］再試験	［3学年］講義	［3学年］再試験	
（枚方学舎2階）第4講義室	［4学年］講義			［4学年］再試験	［4学年］講義		［4学年］再試験					
（枚方学舎1階）実習室ＩＡ	［2学年］生体P2b(1),(2) ［1学年］生体P1a				［2学年］生体P2c	［1学年］理工P1		［2学年］生体P2d	［1学年］生体P1b			
（枚方学舎1階）実習室ＩＢ	［1学年］生体P1a				［2学年］生体P2c	［1学年］理工P1		［2学年］生体P2d		［2学年］感染P2		
（枚方学舎2階）系統解剖実習室	［2学年］生体P2b(1),(2)											

（注）場所変更等がある場合は掲示する。

枚方学舎フロア構成図

	南棟	中央棟	北棟
13階			
12階		基礎社会系居室，実験室 （微生物学，医化学，iPS・幹細胞再生医学，衛生・公衆衛生学，生理学）	
11階		基礎社会系居室，実験室 （解剖学，iPS・幹細胞応用医学，法医学，神経機能部門，iPS・幹細胞研究支援センター） 附属光免疫医学研究所（所長室，腫瘍病理部門）	
10階		基礎社会系/臨床系居室，実験室 （肝臓外科学，乳腺外科学，病理学，薬理学，生体情報部門，モデル動物部門，分子遺伝学部門，がん生物学部門）	
9階		臨床系居室，研究実験室 （小児科学，形成外科学，麻酔科学，心療内科学，内科学第三，整形外科学，内科学第一，呼吸器腫瘍内科学，心臓血管外科学，呼吸器外科学，放射線科学）	
8階		臨床系研究実験室 （内科学第二，脳神経外科学，産科学・婦人科学，腎泌尿器外科学，神経内科学，上部消化管外科学，下部消化管外科学，肝臓外科学，胆膵外科学，乳腺外科学，小児外科学，皮膚科学，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，救急医学，眼科学，ゲノム解析部門，ゲノム編集部門）	附属生命医学研究所 （実験動物飼育共同施設，アイソトープ実験施設）
7階		臨床系居室 （腎泌尿器外科学，産科学・婦人科学，神経内科学，救急医学，放射線科学，内科学第三，臨床研究支援センター，倫理審査センター，診療教授室，臨床検査医学科臨床検査医学センター）	
6階		臨床系居室 （小児科学，眼科学，皮膚科学，整形外科学，リハビリテーション医学，心臓血管外科学，内科学第一，胆膵外科学，健康科学，研究教授・特命教授室）	附属生命医学研究所 （綜合研究施設，アイソトープ実験施設，臨床綜合研究施設，侵襲反応制御部門） 病態分子イメージングセンター
5階		臨床系居室 （麻酔科学，心療内科学，形成外科学，脳神経外科学，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，内科学第二，上部消化管外科学、下部消化管外科学、肝臓外科学、胆膵外科学、乳腺外科学、小児外科学）	
4階	屋上庭園 カフェテリア	自習室（国試対策室） 教育センター カンファレンスルーム，会議室	附属光免疫医学研究所 （基盤開発部門，免疫部門）
3階	学生食堂	シミュレーションセンター 学生セミナー室 図書館（書庫）	歴史資料室 附属図書館
2階	第2講義室 第3講義室 第4講義室	学生セミナー室，会議室 エントランスホール 教養系教室，共同研究室	解剖実習室
1階	加多乃講堂 第1講義室 試験・実習室	法人事務局（南） 法人事務局（北），オープンラウンジ学生談話室，学生自治会室 学生相談室，健康管理室	実習室1A 実習室1B
B1階		大学管理区域 大学管理区域	

EV　WC　EV　EV　WC　EV

学生用接遇マニュアル

本学では、1学年から態度人間性教育を積極的に行っていますが、病院での態度・振舞いについて患者さんから厳しい苦情が寄せられる場合があります。

学生諸君においては、医学生として身につけるべき品位・品格を堅持し、常に周囲から注視されていることを自覚しなければなりません。以下の事項を遵守してください。

１．服装・身だしなみ(次頁イラスト参照)

１．　服装

ア．　清潔なものを着用し、大学指定の臨床実習用白衣で実習に臨むこと。

イ．　学年別に帯色で識別された名札を必ず着用する。

ウ．　実習は、大学指定の靴を着用すること(クロックス（医療用含む）は禁止)。

エ．　スニーカーソックスは着用しない(外来着座時に不適)。

オ．　手・足にミサンガ類はつけない。

２．　身だしなみ

（１）髪型

ア．　医学部生として派手でなく、清潔であること。

イ．　肩より長い髪は後ろで束ねるか上に上げる。髪は肩にかからない。

ウ．　リボンや派手な髪留めはしない。

エ．　男性のあごヒゲ・無精ヒゲは禁止。前髪・横髪は目・顔にかからない。

オ．　極端な茶髪(病棟にあるカラーNo.7まで可、8以上は不可)、脱色は不可。

（２）爪

ア．　いつも短く、清潔にしておく。

イ．　付け爪、マニキュア、ネイルアートはしない。

（３）装飾品

ア．　ピアス、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、指輪、ミサンガはつけない。

（４）その他

ア．　派手な化粧、香りの強い香水・化粧品は禁止。

イ．　カーディガンの着用は実習場所への移動、休憩時間のみとし、実習中は着用しない(白衣下の長袖のアンダーシャツは外に出さない)。

２．病院施設内での言動等の注意

病院は患者さん中心の施設であり、以下の言動等は慎むこと。

ア．　大声で話すこと、笑いながら手を打つこと、通路一杯に広がって歩くこと。

イ．　病状など患者さんの個人情報を話題にすること(特にエレベーター内)。

ウ．　歩きながら飲食物(コーヒーなど)を口にすること。

エ．　白衣のままで院内及び院外の飲食店を利用すること(職員・学生食堂は可)。

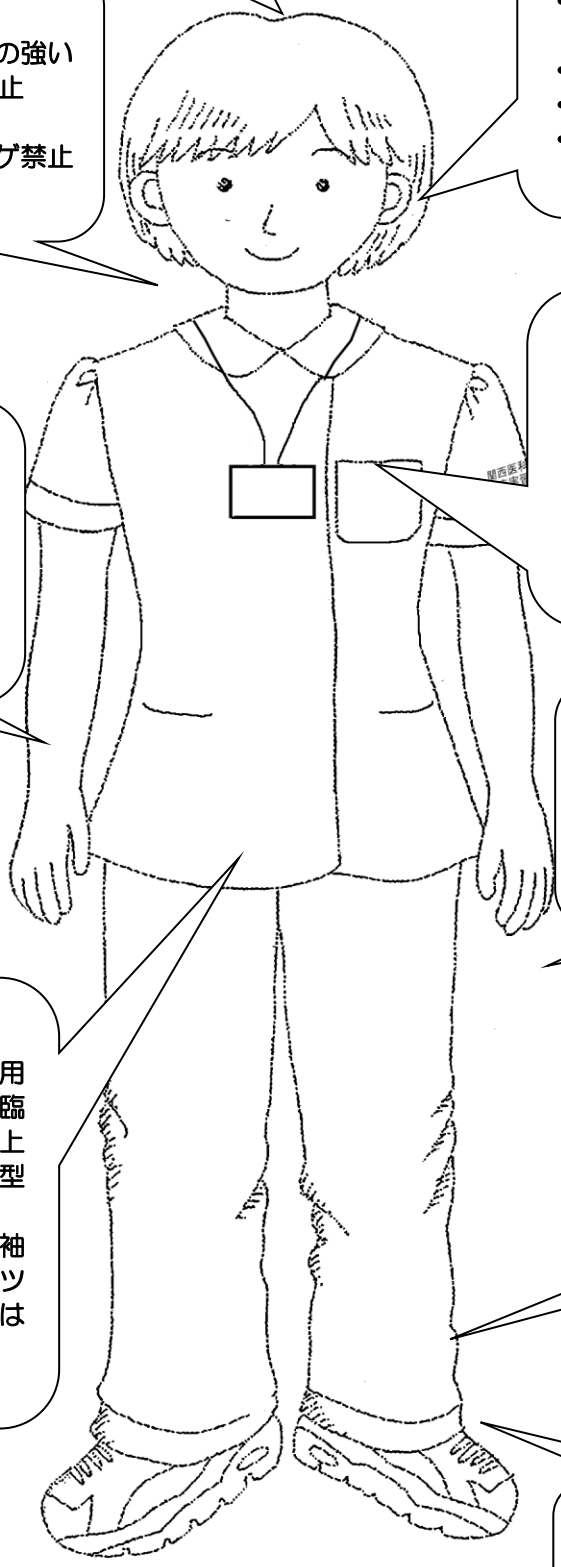
オ．　許可された場所以外で携帯電話やスマートフォンを利用すること。

サービス・マナー
- あいさつはコミュニケーションの第一歩（自ら行う）
- 実習中の私語禁止
- 大口をあけてあくびは禁止

メイク
- 派手な化粧、香りの強い化粧品・香水は禁止

男性
- あごヒゲ・無精ヒゲ禁止

頭髪
- リボンや派手な髪留めをしない
- 極端な茶髪、脱色は不可
- 肩にかからない
- 前髪・横髪は目・顔にかからない



名札・所持品
- 学年別に帯色で識別された名札を必ず着用する（ケースに入れて胸元に下げる）
- 臨床実習生（医学）として、実習参加中は、CCR（クリニカル・クラークシップ・レコード）を常に携帯する

装飾品
- ピアス、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、指輪はつけない（見えなくても不可）
- 結婚指輪も不可

手
- 爪はいつも短く、清潔にしておく
- 付け爪、マニキュア、ネイルアートはしない
- ミサンガ類はつけない

実習着
- 指定の臨床実習用白衣着用。冬期は臨床実習用白衣の上からのみコート型白衣着用可
- カーディガン・長袖のアンダーシャツは実習中の着用は不可
- 定期的な洗濯

足元
- スニーカーソックスは着用しない
- ミサンガ類はつけない

シューズ
- 白色（大学指定の靴）
- クロックス（医療用含む）は禁止

３．対　応

１．　挨拶(あいさつ３箇条)
　　①自分から、②明るい表情で、③大きな声でハキハキと。

２．　応対
（１）電話(最初の挨拶は明るい声で)
　ア．　うける時は、学年、臨床実習生を名乗り、用件の最後に自分の名前を伝える。
　イ．　かける時は、学年、臨床実習生、名前を名乗る。

（２）ナースステーション
　ア．　ナースステーション内でも周囲に気を配る(高笑い不可)。
　イ．　誰に対しても、気持ちの良い笑顔で挨拶(会釈)をする。
　ウ．　相手に分かりやすい言葉で話しかける。正しい日本語の使用を心がける。
　エ．　実習中の私語はしない。
　オ．　退出時、院内の物品を持ち出さない。

３．　患者さんへの接し方、話し方(言葉遣い３箇条)
　　①丁寧に、②分かりやすくはっきりと、③正しい敬語で
　ア．　丁寧な言葉遣いをする。例えば「医学生です」「診させていただきます」
　　「お話をおうかがいします」など
　イ．　医行為で失敗したり、事故があった時、あるいは患者さん、家族が怒りだした
　　時など事態が変化した時、必ず指導医ないし近くの医師に報告する。

４．　クッション言葉(相手に柔らかい印象を与える)
　ア．「ありがとうございました」
　イ．「おそれいります」
　ウ．「お手数をおかけしました」
　エ．「失礼しました」
　オ．「申しわけありません」
　カ．「お待たせしました」
　キ．「お疲れ様でした」

４．環　境

１．　患者のプライバシーへの配慮(指導医と共に)

ア．　検査結果の説明・病状説明・病名告知など、患者さんのプライバシーに関わる話し合いは、面談室あるいはカンファレンスルームなどプライバシーが配慮できる部屋で行う。

イ．　医師の診察や処置を行う際は、外部から見えないようにカーテンでベッド周囲を覆う。

ウ．　廊下側から病室が見えないように、病室のドアを閉める。また、その必要性について患者さんに説明する。

２．　騒音について

（１）話し声

ア．　実習中は私語を慎む。

イ．　団体行動時に大声や高笑いをあげない。手を叩かない。特に外来診察室・ナースステーション・休憩室・廊下・エレベーター内などでは細心の注意を。

（２）足音(入院中の患者さんにとって最も気障りなことです)

ア．　白い靴でサイズの合ったものを履く。

イ．　パタパタと足音をたてないように歩く。

ウ．　廊下は走らない。

３．　備品・設備について

ア．　使用した物品は、所定の位置に戻し整理整頓を行う。

イ．　院内設備で故障や破損があった場合は、指導医に報告し対処する。

（平成 29 年 12 月 12 日教授会承認）

個人身だしなみチェックリスト

氏名（　　）

		チェック内容　　／　　日付	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
1	頭髪	医学部生として派手でなく、清潔であること。											
2		リボンや派手な髪留めをしない。											
3		極端な茶髪、脱色は不可。											
4		髪は肩にかからない（肩より長い髪は後ろで束ねるか上に上げる）。											
5		前髪・横髪は目・顔にかからない。											
6	メイク・装飾品	派手な化粧、香りの強い香水・化粧品は禁止。											
7		男性のあごヒゲ、無精ヒゲは禁止。											
8		爪はいつも短く、清潔であること。											
9		付け爪、マニキュア、ネイルアートはしない。											
10		ネックレス・ピアス・イヤリング・ブレスレット・指輪はつけない（見えなくても不可）。											
11		手・足にミサンガ類をつけない。											
12	服装	大学指定の臨床実習用白衣を着用する。											
13		定期的に洗濯した清潔な実習着を着用する。											
14		カーディガン・長袖のアンダーシャツは実習場所への移動、休憩時間のみ。											
15		スニーカーソックスは着用しない。											
16	名札	学年別に帯色で識別された名札を着用する（ケースに入れて胸元に下げる）。											
17	シューズ	大学指定の靴を着用すること（クロックス（医療用含む）は禁止）。											
18	携帯電話	携帯電話やスマートフォンは許可された場所以外で使用しない。											
19	所持品	臨床実習生（医学）として、実習参加中は、CCR（クリニカル・クラークシップ・レコード）を常に携帯する。											
		点検者											

※お互いチェックし合いましょう

※評価方法　　〇できている

　　×できていない

備考

附属図書館本館利用案内

開館時間

〔通常開館〕　平日：9:00～21:00　　第 1・3・5 土曜日：9:00～18:00

〔休日開館〕　日曜日・祝日・第 2・4 土曜日・年末年始：9:00～18:00

※ 開館時間の変更や臨時休館については別途図書館のウェブサイト等でお知らせします。

図書館への入退館

入館・退館には学生証が必要です。

学生証を忘れた場合はカウンターで入館の手続きを行ってください。

貸出・返却

貸出・返却の手続きは、カウンターもしくは自動貸出返却装置で行い学生証が必要となります。

貸出できるのは、図書、雑誌、視聴覚資料、合わせて 5 点までです。

希望する資料が他の人に貸出中の場合には予約を入れることができます。

図書については、返却期限内で、かつ、他の人の予約が入っていない場合のみ貸出期間の延長が 2 回までできます。

閉館時の返却は入口横の返却ポストに投函してください。（ただし、視聴覚資料については、カウンターまでお持ちください。）

複写（図書館資料のコピー）

プリペイドカード式のコピー・プリンター複合機(カラー/モノクロ)を設置しています。

利用できるのは閉館時刻の 10 分前までです。

複合機は図書館資料の複写・印刷のために設置しています。著作権法に定められた範囲での利用をお願いします。コピー利用の際は、備え付けのコピー使用申込書に必要事項を記入してください。

※ コピーカード(プリペイドカード)は 1 階の経理課か館内の自動販売機で購入できます。

経理課での取扱時間：平日 9:00～17:00　第 1・3・5 土曜日 9:00～12:50

自動販売機では 100 度数のカード(1000 円)のみを販売しています。千円札のみの取扱となります。

なお両替･領収書の発行には応じられません。

文献情報検索

館内の PC で電子ジャーナル・電子ブックを利用できます。

館内の複合機で検索結果を印刷する場合はコピーカードが必要です。

電子ジャーナル利用上の注意

次の事項はどの出版社においても、おおむね禁止されています。

・雑誌一号分にわたるような大量のデータを短時間に一括してダウンロードすること
・複製、再配布すること
・個人の学術研究、教育目的以外で利用すること
・許可なくデータを翻訳、編集、変更すること

違反すると、法人全体の電子ジャーナル利用が停止される恐れがありますので、
利用に際しましては、くれぐれもご注意ください。

休日開館日（無人開館）について

扉は施錠されていますので、入口横のカード読み取り装置に各自学生証をかざして解錠してください。

貸出・返却の手続きは、自動貸出返却装置で行ってください。

視聴覚資料の閲覧･貸出はできません。

図書館利用に際しての注意事項

■ 館内は禁煙および飲食禁止です。ただし完全に蓋ができる飲み物については持込ならびに飲用を認めています。
■ 携帯電話での通話は禁止しています。
■ 他の利用者の迷惑にならないよう静粛に努めてください。
■ 図書館への入退館の際は、一人ずつ学生証をゲートでかざし、扉が開いてから通行してください。
■ 図書館の利用は必ず本人の学生証で行ってください。他人の学生証で図書館を利用することは違反行為に当たります。また、自分の学生証を使わず他の人と一緒に入ることも違反行為です。これら違反行為は処分の対象となります。
■ 他人の学生証で入退館した場合、学生証を貸した人と借りた人の両方が処分の対象となります。
■ 資料の無断持ち出しに関しても罰則を設けています。必ず貸出手続きを済ませてから退館してください。うっかりでも回数を重ねると処分の対象となります。

▼ 入退館に関する違反の罰則
　　1ヶ月間の図書館利用停止
▼ 無断持ち出しの罰則
　　2回目：1週間の貸出停止
　　3回目：1ヶ月間の貸出停止

悪質な場合や罰則が度重なった場合は、学生部（学生委員会等）で審議され処分の対象となります。

図書館利用の詳細については学生ハンドブックをご覧ください。